

第2次
碧南市スポーツ推進計画
2025 ➤ 2034

スポーツで ひともまちも 元気ッス！

2025年3月
碧 南 市

目次

第1章 計画の策定にあたって

1	計画策定の趣旨	1
2	スポーツ推進における国・県の動き	4
3	計画の位置づけ・期間	6

第2章 計画の基本的な考え方

1	計画の理念と目指す姿	7
2	計画の体系	8
3	計画の骨子と数値目標	10

第3章 施策の展開「元気ッス！運動の推進」

1	「する」元気ッス！	14
2	「みる」元気ッス！	17
3	「ささえる」元気ッス！	19
4	「つながる」元気ッス！	21

資料編

各種数値的資料	23
アンケート調査結果	30
策定の経過	50
策定委員名簿	51

計画の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

(1) 計画策定の趣旨

スポーツの実施は、体力向上やストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身の健康の保持増進のみならず、達成感や仲間との連帯感といった精神的な充足をもたらし、明るく活力に満ちた社会形成に大きな役割を果たします。

本市では、平成27年3月に「碧南市スポーツ推進計画（2015～2024）」を策定し、その後、令和元年度に中間見直しを行い、体系的にスポーツ施策に取り組んできました。

策定から10年が経過し、わが国のスポーツに係わる出来事として、スポーツ庁の創設（平成27年10月）、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催（令和3年7月13日～8月8日）等がありました。

また、新型コロナウイルスの流行は、スポーツの実施にも影響を与えました。大会やイベントは中止・縮小を余儀なくされ、あらゆるスポーツ活動に制限が設けられることとなり、社会は閉塞感に包まれました。他にも、少子化等を背景に、学校部活動のあり方について過渡期を迎えるなど、社会環境における変化も生じています。

令和8年度には、愛知・名古屋においてアジア・アジアパラ競技大会の開催が控えており、スポーツ振興における機運の高まりが期待されています。競技力の向上はもとより、共生社会の実現、地域活性化といった様々な成果を生み出していくことが期待されます。

社会情勢の変化や地域事情を踏まえ、令和7年度からの10年間における本市のスポーツ推進の基本的な考え方を示した「第2次碧南市スポーツ推進計画（2025～2034）」を策定しました。

（２）新たな社会背景

少子高齢化の進行

高齢社会白書（内閣府）によると、わが国の高齢化率は29.0%（令和4年10月1日現在）と、世界で最も高齢化が進んでいるといわれています。スポーツはフレイル（加齢による諸機能の低下による要介護状態の手前の段階）の予防や、生きがいづくりなどの役割が期待されます。

わが国の人口は、令和2年の1億2,615万人から50年後には8,700万人に減少するといわれています（令和5年厚生労働省推計）。少子化は学校部活動のあり方に影響を与え、文部科学省は令和5年～7年を部活動の「改革推進期間」と位置づけ、部活動の地域移行等の対応を求めています。

共生社会の実現

暮らしにおける人と人とのつながりが弱まる中、誰もが役割を持ち、支え合い、その人らしい生活を送ることができる社会の構築が求められています。国（スポーツ庁）の「第3期スポーツ基本計画（2022～2026）」において、誰もが「する」、「みる」、「ささえる」といったスポーツの価値を享受し、多様な立場・状況の人とスポーツを楽しめる環境を整え、スポーツを軸とした共生社会の実現が目指されています。

国際大会のレガシー継承

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会がわが国で開催されました。コロナ禍での開催となりましたが、困難な状況下でトップアスリートが真摯に競技に挑む姿は、国内外の多くの人に感動をもたらしました。また、「多様性と調和」をコンセプトに、共生社会をはぐくむ場として大会を位置づけ、世界中の人々や社会に対し、大きな影響をもたらしました。

東京大会を契機としたスポーツ機運の高まりについて、一過性のものとせず、そのレガシーを継承し、持続可能なものとしてつなげていくことが求められます。

地方創生・まちづくり

スポーツ振興と地域・社会の振興の好循環の実現が求められます。集客力や情報発信力といったスポーツの持つ力を活用し、交流人口の拡大や地域の活性化につなげる等、社会課題への取り組みが重要になります。

持続可能な開発目標（SDGs）の採択

SDGsとは「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。平成27年の国連サミットにて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられ、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

本市においてもSDGs達成のため、「第6次碧南市総合計画(2021～2030)」の各施策分野に17のゴールを関連付けています。スポーツと関連性のある目標達成に資する取り組みとして、本計画を位置付けます。



2 スポーツ推進における国・県の動き

(1) 国の動向

スポーツ基本法に基づき、平成 24 年 3 月に「第 1 期スポーツ基本計画（2012～2016）」が策定され、わが国のスポーツ施策の具体的な方向性が示されました。

平成 27 年 10 月には、スポーツ立国実現に向けスポーツ庁が設立され、「第 2 期スポーツ基本計画（2017～2021）」が平成 29 年 3 月に策定されています。スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」といった様々なかたちでのスポーツ参画人口の拡大、「一億総スポーツ社会」実現のため、国、地方公共団体、スポーツ団体の役割が明らかにされました。

現在は、令和 4 年 3 月に策定された「第 3 期スポーツ基本計画（2022～2026）」に基づき、取り組みが推進されています。東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機とした、6 つの重点施策の推進やスポーツの持つ価値を高めることが記されています。また、真にスポーツの持つ価値を享受するため、新たな「3 つの視点」について示しています。

東京オリ・パラ大会のスポーツレガシーの継承・発展に資する重点施策

- 持続可能な国際競技力の向上
- 共生社会の実現や多様な主体によるスポーツ参画の促進
- スポーツを通じた国際交流・協力
- 大規模大会の運営ノウハウの継承
- 地方創生・まちづくり
- スポーツに関わる者の心身の安全・安心保障

スポーツの持つ価値

スポーツそのものが有する価値

心身の健全な発達、健康・体力の保持増進、精神的充足感の獲得、自律心等の精神の涵養

社会活性化等に寄与する価値

地域社会の再生、活力ある長寿社会の実現、国民経済の発展、国際理解の促進

新たな3つの視点

スポーツを「つくる／はぐくむ」

社会の変化や状況に応じ、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し、最適な手法・ルールを考えて作り出す。

スポーツで「あつまり、ともに、つながる」

様々な立場・背景・特性を有する人・組織が集まり、ともに課題に対応しつながりを感じてスポーツを行う。

スポーツに「誰もがアクセスできる」

性別や年齢、障害、経済・地域事情等によりスポーツの取り組みに差が生じない社会を実現する。

(2) 県の動向

愛知県では、令和5年3月に「愛知県スポーツ推進計画（2023～2027）」が策定されました。

「生涯にわたるスポーツによる人のつながり」、「世界で活躍するトップアスリートの持続的な輩出」、「スポーツを通じた世界からの人の呼び込みと持続可能な成長」の3点が目指すべき姿として描かれています。

また、令和7年には愛知県新体育館（IGアリーナ）が開業する予定となっており、令和8年には4年に1度開催されるアジア最大のスポーツの祭典アジア・アジアパラ競技大会が開催されます。本市でも碧南緑地ビーチコートがビーチバレーボールの競技会場となることが仮決定しています。

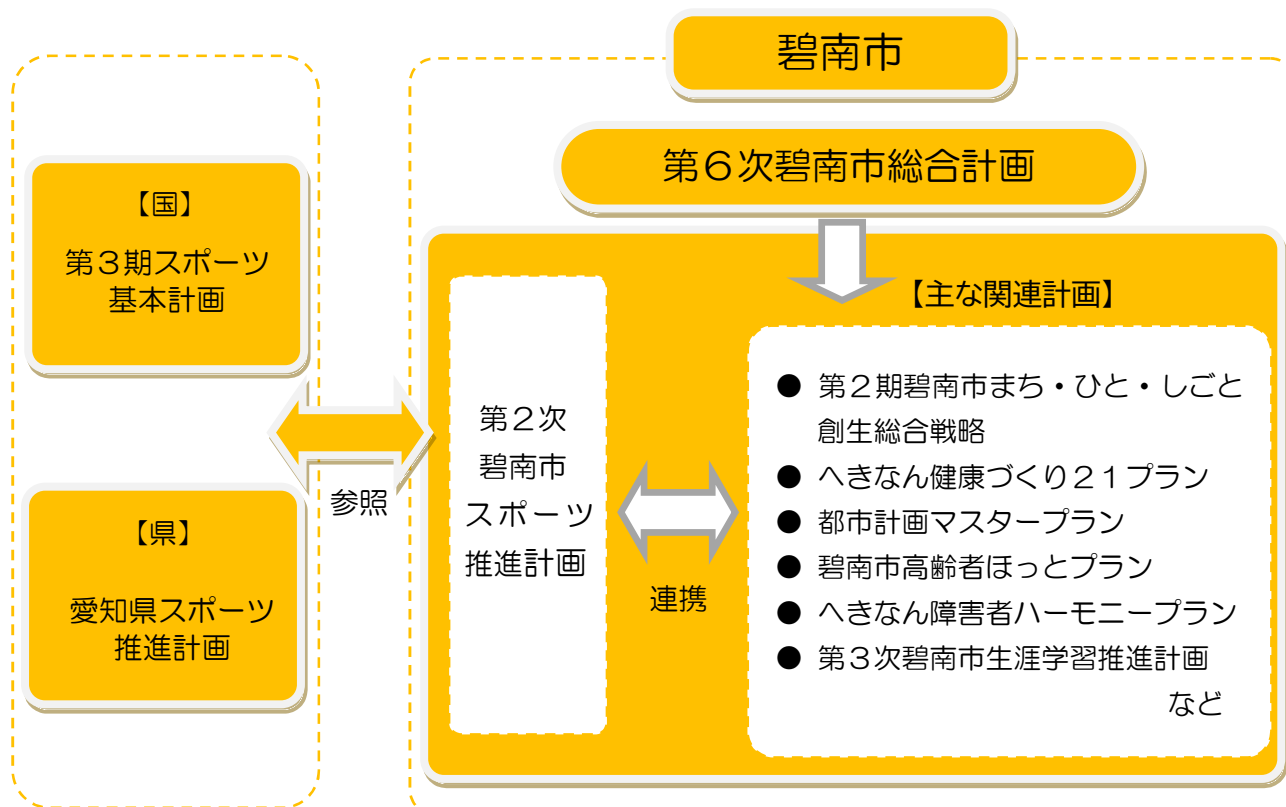


平成30年7月に開設された碧南緑地ビーチコート

3 計画の位置づけ・期間

本計画は、スポーツ基本法第10条第1項に規定する「地方スポーツ推進計画」として位置づけ、計画期間は令和7年度から令和16年度までの10年間とします。

「第6次碧南市総合計画（2021～2030）」や各分野の計画とも整合性を図りつつ、本市におけるスポーツ推進の基本的な方向性を示すものです。スポーツ環境の変化や計画の進捗具合などを考察し、状況に応じて中間見直しを行います。



1 計画の理念と目指す姿

スポーツは、人々が健康で豊かな生活を営む上で不可欠なものです。また、スポーツを通じた様々な交流は、活力に満ちたまちづくりにもつながります。

これまで、本市ではスポーツ実施率（週1回以上スポーツを実施している市民の割合）60%を目標値に掲げていますが、達成できていません。引き続き、市民一人ひとりがスポーツに取り組むことができるよう、スポーツ実施率60%を目標とします。また、観ることでスポーツに親しむ人が増えれば、スポーツに携わる人口の増加も見込まれ、ひいてはスポーツ環境の向上につながります。加えて、スポーツの持つ力は、人と人のつながりを作り、明るく元気な地域社会の形成につながります。

「第2次碧南市スポーツ推進計画（2025～2034）」では、国の示すスポーツを「する」、「みる」、「ささえる」といった従来の関わり方に加え、スポーツで「つながる」という視点を組み入れ、施策の推進に取り組みます。

本市は、衣浦湾をはじめとした豊かな水に囲まれ、産業、文化にも恵まれた住みよい環境が整っています。「第6次碧南市総合計画（2021～2030）」では、「新たな力とともに創る笑顔と元気のみなとまち へきなん」を将来像に掲げ、まちの魅力を生かし、明るい未来へ持続可能な豊かな市民生活の実現を目指しています。

市の目指すまちづくり像を踏まえ、「だれもがスポーツに親しみ明るく元気になること」、「スポーツがまちの活性化に活かされること」の2点を本計画の基本理念とします。こうした理念を実現すべく、「スポーツで ひととまちも 元気ッス!」を目指す姿として、各施策に取り組みます。

2 計画の体系

目指す姿

スポーツで ひともまちも 元気ッス!

基本方針

施策の方向

基本方針 1

「する」

元気ッス!

①スポーツ人口の定着・拡充

②多様なスポーツ参画の機会づくり

③子どものスポーツ活動の推進

基本方針 2

「みる」

元気ッス!

①スポーツ観戦の機会創出

②イベント等の情報発信

基本方針 3

「ささえる」

元気ッス!

①スポーツ環境の整備・充実

②スポーツ支援・指導人材の育成と確保

③選手の育成と支援

基本方針 4

「つながる」

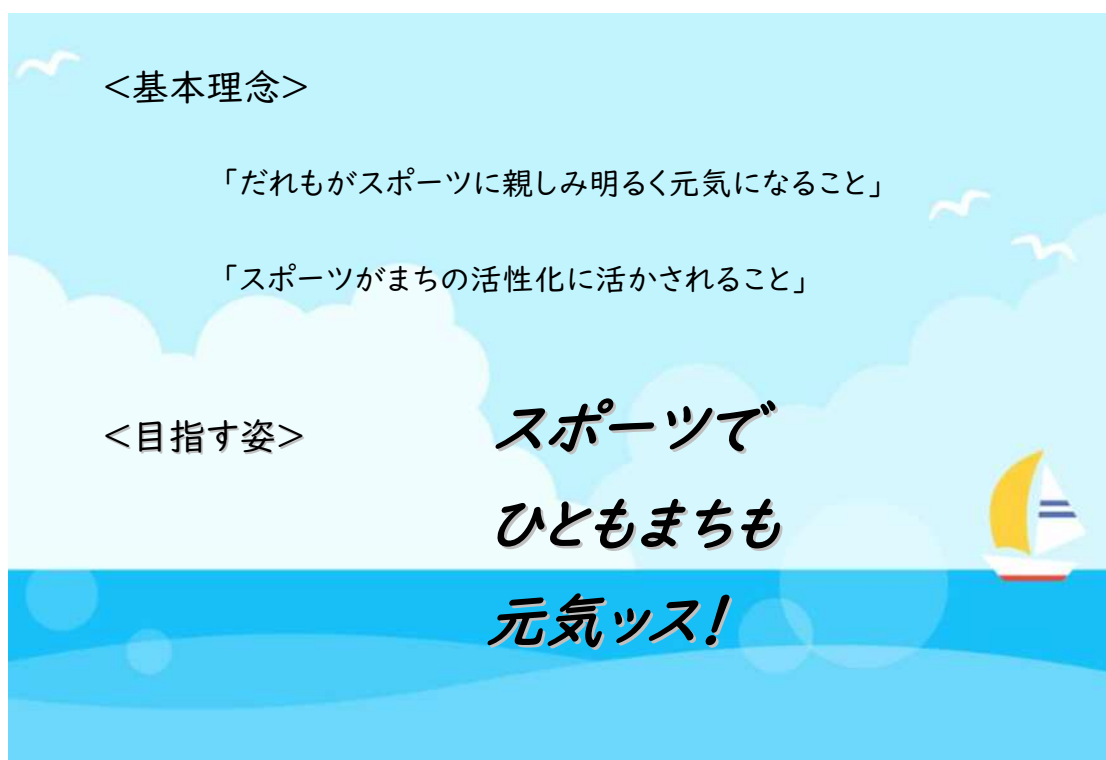
元気ッス!

①大会・イベントの実施

②スポーツによるまちの魅力創造

国の「第3期スポーツ基本計画（2022～2026）」では、スポーツの価値を高めることが目指されています。これまでは、すべての人々が、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」という様々な関わり方を持つことで、スポーツの価値を享受できるよう取り組みを進めるとしてきました。また、「する」、「みる」、「ささえる」を真に実現するために、新たな「3つの視点」を持つことの重要性について示しています。

こうした新たな観点を踏まえ、基本方針を定め、施策を展開していきます。とりわけ、スポーツをまちづくり、賑わいづくりの一環として、地域の活性化に活かすものと捉え、従来の「する」、「みる」、「ささえる」に加え、スポーツで「つながる」という視点を含め、スポーツ推進に取り組みます。



3 計画の骨子と数値目標

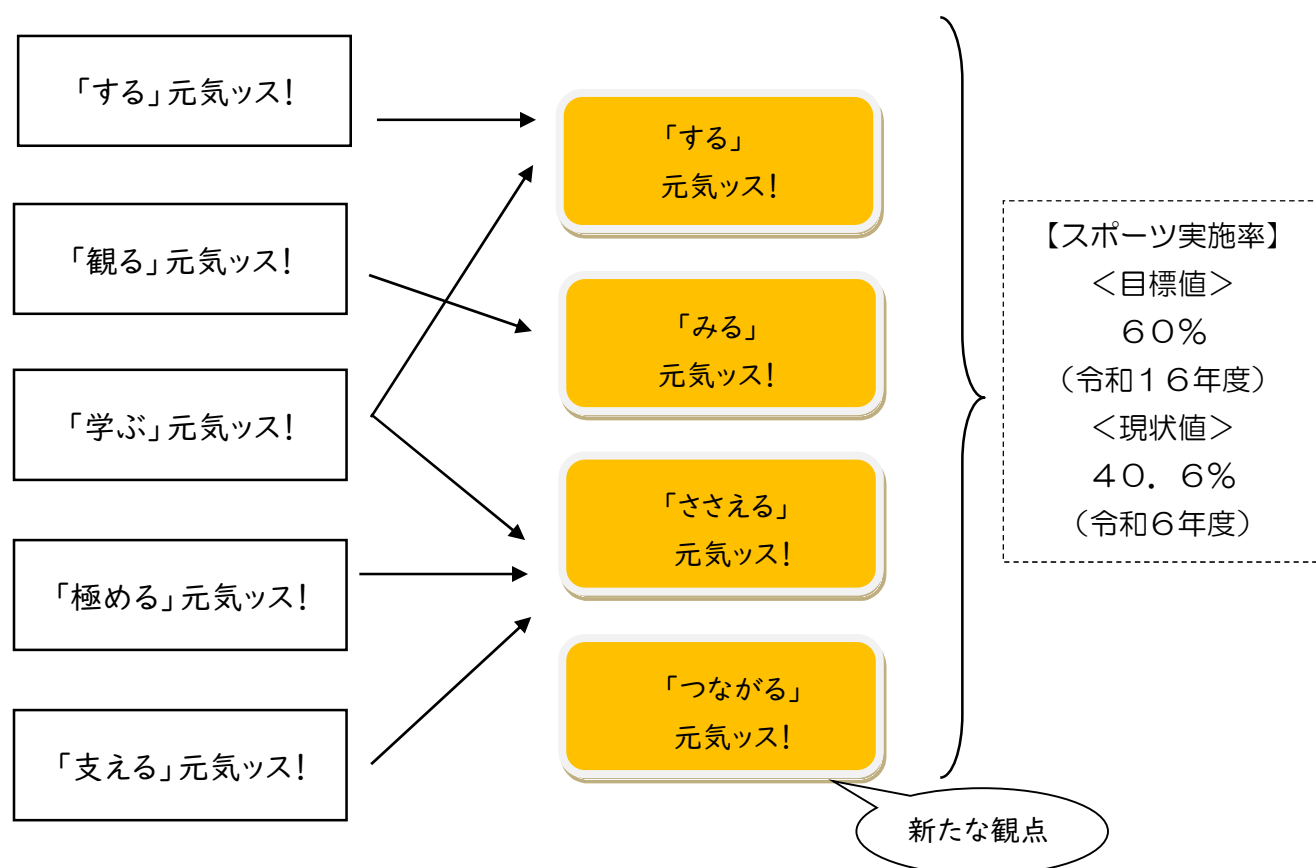
本計画の達成度を測る指標として、「スポーツ実施率60%」を数値目標とします。国の「第3期スポーツ基本計画（2022～2026）」、愛知県の「愛知県スポーツ推進計画（2023～2027）」では、ともにスポーツ実施率70%を掲げていますが、本市の現状値は40.6%（令和6年度）として、引き続き60%を目標値とします。

「碧南市スポーツ推進計画（2015～2024）」では、計画の骨子として、「する」元気ッス!、「観る」元気ッス!、「学ぶ」元気ッス!、「極める」元気ッス!、「支える」元気ッス!の5つを基本方針として定め、基本方針に対応した数値目標を設定していました。

「第2次碧南市スポーツ推進計画（2025～2034）」では、「する」、「みる」、「ささえる」、「つながる」という4つの観点に基本方針を集約させ、また、個別に数値目標を設定せず、全ての基本的な目標を総括する指標として、スポーツ実施率のみを本計画の数値目標と捉えます。各施策の達成度については、施策の方向ごとに示す主な取組みに対する実施状況を個別に評価することで、進捗を管理します。

碧南市スポーツ推進計画
(2015～2024)

第2次碧南市スポーツ推進計画
(2025～2034)



<参 考>

前計画（碧南市スポーツ推進計画（中間見直し・令和元年度））における基本方針ごとに定められた数値目標とその評価・考察

【「する」元気ッス！】

項目	週1回以上スポーツを行っている市民の割合 (アンケート調査において「週に1回以上スポーツを行っている」と答えた人の割合)		
計画策定時の基準値	37.5% (令和元年度)	評価 ・ 考察	前計画の策定当時の数値は 37.5% でした。最新数値は 40.6% となり、3.1% の増加となりましたが、目標値である 60.0% を達成できていません。引き続き、第2次碧南市スポーツ推進計画においても、60.0% を目標値として、継続していきます。
最新の数値	40.6% (令和6年度)		
目標値	60.0% (令和6年度)		

項目	社会体育施設利用者数		
計画策定時の基準値	582,105 人 (平成30年度)	評価 ・ 考察	新型コロナウイルス感染症の影響（令和元年度）から、平成30年度の基準値と比較し数値が減少しています。コロナ明けとなった令和3年度からは微増となっていますが、目標値からは大きく乖離しています。 (令和元年度) 531,952 人 (令和2年度) 531,963 人 (令和3年度) 557,204 人 (令和4年度) 564,718 人
最新の数値	558,407 人 (令和5年度)		
目標値	700,000 人 (令和6年度)		

【「学ぶ」元気ッス！】

項目	スポーツ活動の際に指導してくれる人がいる市民の割合 (アンケート調査において「スポーツ活動する際に指導してくれる人がいる」と答えた人の割合)		
計画策定時の基準値	17.1% (令和元年度)	評価 ・ 考察	実施する運動内容やレベルによっては指導者を必要としない場合もあることから、令和2年度以降数値を調査していません。
最新の数値	未調査		
目標値	25.0% (令和6年度)		

【「極める」元気ッス！】

項目	オリンピック・世界選手権、国体・高校総合、全国大会、東海地区大会への出場者数・出場団体		
計画策定時の基準値	29人 36団体 (平成30年度)	評価 ・ 考察	基準値より出場団体が12団体減りました。出場者数については目標値を達成できませんでした。 (令和元年度) 37人・26団体 (令和2年度) 4人・11団体 (令和3年度) 23人・20団体 (令和4年度) 27人・19団体
最新の数値	29人 24団体 (令和5年度)		
目標値	60人 23団体 (令和6年度)		

【「支える」元気ッス！】

項目	「へきなん総合型スポーツクラブ」を知っている市民の割合 (アンケート調査において「よく知っている」「少し知っている」と答えた人の割合)		
計画策定時の基準値	22.7% (令和元年度)	評価 ・ 考察	設立から16年が経過し、安定的な運営と周知が進んできていることから、令和2年度以降数値を調査していません。
最新の数値	未調査		
目標値	30.0% (令和6年度)		

項目	臨海体育館施設利用率 (臨海体育館アリーナの利用可能枠に対する団体利用の割合)		
計画策定時の基準値	62.5% (平成30年度)	評価 ・ 考察	基準値より 0.7%の減少となりました。目標値の 70.0%を達成できませんでした。 (令和元年度) 62.3% (令和2年度) 51.4% (令和3年度) 62.4% (令和4年度) 61.3%
最新の数値	61.8% (令和5年度)		
目標値	70.0% (令和6年度)		

項目	スポーツ施設改修整備率 (耐用年数の半分を過ぎたスポーツ施設に対する施設改修の割合)		
計画策定時の基準値	62.5% (平成30年度)	評価 ・ 考察	碧南市公共施設等総合管理計画において施設改修等の新たなマネジメント方針が打ち出されたため、令和元年以降数値を調査していません。
最新の数値	未調査		
目標値	70.0% (令和6年度)		

項目	スポーツ施設の満足度 (アンケート調査において「満足」「どちらかといえば満足」と答えた人の割合)		
計画策定時の基準値	19.5% (令和元年度)	評価 ・ 考察	基準値より 4.1 ポイントの減少となりました。目標値の 30.0%を達成できませんでした。
最新の数値	15.4% (令和6年度)		
目標値	30.0% (令和6年度)		

項目	スポーツ少年団等における、スポーツ交流事業への参加率		
計画策定時の基準値	12.3% (平成30年度)	評価 ・ 考察	新型コロナウイルス感染症の流行等により、交流事業の見直し等あったため、令和元年以降の数値を調査していません。
最新の数値	未調査		
目標値	25.0% (令和6年度)		

第3章

施策の展開「元気ッス!運動の推進」

Ⅰ 「す る」元気ッス!

【現状と課題】

- 本市では、スポーツ実施率が目標値に達しておらず、課題となっています。アンケート調査をみると、29歳以下から50歳代のスポーツ実施率が低い結果となりました。29歳以下、30歳代では、「スポーツ・運動をしない（できない）理由」として「時間的な余裕がない」が最も回答割合が高く、育児等で家庭生活が忙しいことが要因として考えられます。40歳代、50歳代では、「意欲が湧かない」の割合が高くなりました。仕事で多忙であったり、社会的な責任が増すこと等から、スポーツ・運動に意識が向きにくくなるものだと推察されます。これらの世代がスポーツに継続して取り組めるよう、年齢層に応じた幅広いスポーツ機会の提供が必要です。
- 「スポーツ施策で力を入れるべきことは何だと思いますか」というアンケートの問いにおいて、「年齢層に応じたスポーツの普及」が19.5%、「施設の整備」が16.4%、次いで「健康、体力づくり中心の講座」が16.0%でした。また、「情報発信について行ってほしいことはありますか」という問いでは、「健康や体力づくりに関する情報提供」が26.3%と最も高い結果となりました。

日ごろより健康に意識のある層から運動ができていない層まで、気軽に参加できる運動の場や健康に関する有益な情報が得られる機会の提供が求められます。そのために、健康部局との連携やSNS等の活用により、市民の健康、体力づくりに関する取り組みを進める必要があります。
- 高齢者にとってスポーツは、健康増進、介護予防のみならず生きがいや仲間づくりとして心身の健康に大きな役割を果たします。アンケート調査において、「スポーツ・運動をする理由を教えてください」という設問では、60歳代、70歳代の回答の半数以上が「健康、体力づくり」、「介護予防」となっています。また、他の年代と比較し、「友人・仲間との交流」の回答割合も高い結果となりました。

一方、「スポーツ・運動をするのが好きですか」という設問において「好き」、

「どちらかといえば好き」の割合が最も低かったのが70歳代以上で、50.4%でした。高齢者がスポーツに親しめる機会の創出が求められます。

加えて、スポーツに触れる機会が相対的に少ない障害者が様々な形でスポーツに参加できるよう、関係機関と連携し、各種情報や機会の提供により、年齢や体力、障害の有無に関わらず、あらゆる人がスポーツに関わることができる環境を整備する必要があります。

- 子どものスポーツ機会の確保は重要です。活発な身体活動を行うことは、成長に必要な体力を高めることはもとより、精神的な成長にもつながります。

また、幼少期にスポーツに親しむことで、その後の人生の運動実施の習慣化にもつながります。

学校体育において、中学校部活動の地域連携・地域移行※に向けた段階的な環境整備について国から示されており、その対応が求められています。

※ 地域連携

複数校でまとまって合同で部活動を実施したり、指導員等の地域人材を活用することにより、学校を主体としつつ、生徒の活動機会を確保するもの。

※ 地域移行

民間事業者やスポーツ団体等多様な主体が実施する活動によって、部活動を代替するもの。



部活動の地域連携に資する取り組みとして、碧南市で実施している部活動支援事業

平日の夜間に学校施設を利用し、部活動支援員による中学生のスポーツ指導が行われている

種目はバレーボール、バスケットボール、サッカー、ソフトテニス、卓球、軟式野球、剣道がある

施策の方向① スポーツ人口の定着・拡充

主な取り組み
運動のきっかけ、スポーツ参加への間口となるよう、各種スポーツ教室を開催します。幅広い年齢層が参加できるよう、種目や開催日時のニーズの調査に努めます。
スポーツ推進委員による出前講座や、各種器具の貸出により、多世代が楽しめるニュースポーツの普及を推進します。
市民が気軽に参加し、スポーツを楽しむことができるよう各種スポーツイベント、大会を開催します。

施策の方向② 多様なスポーツ参画の機会づくり

主な取り組み
関係団体と連携し、気軽な運動により、健康増進や人と人のつながりを形成することを目指すスポーツレクリエーション活動を推進します。
年齢、国籍、障害の有無に関わらずだれもが楽しむことができるユニバーサルスポーツの普及に取り組みます。
障害者と健常者がともに楽しむことができるイベントや大会を開催します。

施策の方向③ 子どものスポーツ活動の推進

主な取り組み
子どもを対象としたスポーツ教室を開催し、体を動かすことに親しみを持ち、スポーツに対する意欲や関心を持ちやすい環境を作ります。
地域の子どもや保護者にとって気軽に参加できる環境や活動内容が整備された団体として、スポーツ少年団の活動を支援します。
中学校部活動のあり方について学校体育と連携し、中学生期におけるスポーツ機会の確保・充実に努めます。



ユニバーサルスポーツの代表的な種目「モルック」
気軽に楽しめるスポーツとして親しむ人が増えている

2 「みる」元気ッス！

【現状と課題】

- 「みる」がスポーツに親しむきっかけとなることは少なくありません。「みる」ことでスポーツに親しみ、そこからスポーツに関わる市民が増えるような取り組みが求められます。

アンケート調査において「スポーツ観戦が好きですか」という問いに対し、「好き」、「どちらかといえば好き」という回答割合は61.1%でした。一方、「嫌い」、「どちらかといえば嫌い」が10.7%、「どちらでもない」が25.7%でした。

また、男女別の「好き」「どちらかといえば好き」の回答割合を比較すると、男性が69.3%、女性が54.8%となっており、「どちらでもない」の回答割合では、男性が20.2%、女性が29.7%でした。半数以上の市民がスポーツを観ることに対し、好意的にとらえていることが分かりましたが、男性と比較し割合が低い女性や、どちらでもないと回答した層に対する働きかけが求められます。スポーツに対する興味、関心を高めるため、SNS等多用な媒体を通じて効果的な情報展開を進め、スポーツを観る楽しさ、魅力について発信していく必要があります。

- スポーツ観戦には、ストレスの解消や人の社交的なつながりを生み出すなどの力があり、「みる」ことでスポーツの価値を享受することができます。「みる」機会を提供することは、非常に重要だと考えられます。

アンケート調査において、「2026年アジア競技大会を観戦したいですか（競技を問わず）」という問いに対し、「現地で観戦したい」が24.0%、「テレビ等で観戦したい」が56.0%、「パブリックビューイング等で観戦したい」が4.6%、「したくない」が15.4%でした。アジア競技大会をはじめとして、ハイレベルな試合を観戦できる機会を提供することは、スポーツ推進を図るうえでの重要な機会と捉え、試合、大会の情報発信に努め、観戦意欲の促進を図る必要があります。

施策の方向① スポーツ観戦の機会創出

主な取り組み
アイシンティルマーレ碧南をはじめ、市とパートナー協定等を結んでいる企業スポーツチームに対する広報活動を積極的に行い、試合観戦を促進します。
2026年に開催されるアジア・アジアパラ競技大会について、トップレベルのスポーツを体感できる絶好の機会として、観戦の機会を提供します。
全国大会等を開催し、レベルの高い試合観戦の機会創出に取り組みます。

施策の方向② イベント等の情報発信

主な取り組み
広報やホームページのほか、SNS（LINE や Instagram 等）を活用し、幅広い年代に情報が行き渡るよう取り組みます。
市で行うスポーツ大会やスポーツ関係団体の行うイベントの情報を積極的に発信します。



碧南市と「地域包括連携協定」を結ぶアイシンティルマーレ碧南（アイシンバレーボール部）
臨海体育館でアイシンティルマーレ碧南のホームゲームとしてVリーグの試合が行われている

3 「ささえる」元気ッス！

【現状と課題】

- 多くの人がスポーツに親しむことができるよう、環境の整備は不可欠です。「整備してほしいスポーツ施設はありますか」というアンケート調査の問いでは、「ジョギング、ウォーキングコース」が 22.4%と最も高く、次いで「特になし」が 16.7%、「体育館」が 15.0%となっています。

要望の多いウォーキングやジョギングコース整備については、碧南レールパークや臨海公園といった施設が活用されるよう、適切な施設管理について所管課と連携を図ります。体育館等老朽化の進む施設については、順次計画的な修繕、改修により安全性を確保しつつ、長寿命化の検討が必要です。

- 「市の公共スポーツ施設に望むことは」というアンケート調査の回答では、「特にない」が 27.1%、「施設数の増加」が 13.2%、次いで「利用手続きの簡略化」が 12.6%でした。生活の多様化等から、施設利用の予約や支払い等について、より利便性のある方法を検討していく必要があります。
- 大規模改修、施設整備については予算の確保が課題となります。コストの平準化や費用負担の削減を図りつつ、財源確保に取り組む必要があります。
- 種目によっては利用施設が飽和状態となっていることから、市民のスポーツ活動の場として、学校体育施設を含めた施設の効果的な利用検討が必要です。
- スポーツ振興を図る上では指導者やボランティアをはじめとした、多くの人材の協力が必要となります。地域のスポーツ活動を支えるスポーツ推進委員のほか、スポーツ協会をはじめとした関係団体等において、スポーツ実施の環境を支える支援・指導者の確保が求められます。

「スポーツ・運動の指導に関わりたいですか」というアンケート調査項目では、「関わりたい」が 6.7%、「関わりたくない」が 63.3%、「わからない」が 28.1%でした。支えることでスポーツに携わる人が増えれば、スポーツ人口の拡大に繋がります。スポーツを支える担い手の人材確保に努め、スポーツ実施の環境充実に努めます。

施策の方向① スポーツ環境の整備・充実

主な取り組み
老朽化の進む施設においては、部分修繕、改修により建替サイクルの延伸を図りつつ、コストの平準化、費用負担の削減に努めながら適切な施設整備を行います。
施設の効果的な利用として学校体育と連携し、学校施設（体育館、グラウンド等）の活用を進めます。登録団体による学校開放利用等による運動のできる場の環境整備に努めます。
大規模改修や施設整備については、スポーツ振興基金やスポーツ振興くじ助成金といった財源の活用に努めます。碧南緑地におけるスポーツ施設の整備については、アジア・アジアパラ競技大会後の利用を見据えつつ、あらゆる観点から調査・研究を進めていきます。また、他の地域での整備についても今後の状況に応じて検討していきます。

施策の方向② スポーツ支援・指導人材の育成と確保

主な取り組み
地域のスポーツ活動の推進役として、スポーツ推進委員の役割について理解の促進を図るとともに、実技指導等の資質向上に努めます。
アジア・アジアパラ競技大会をボランティア参加の機運醸成の機会ととらえ、広く市民に情報発信し、ボランティアを体験する機会を創出します。感動をともに分かち合う経験等を得ることで、継続的にスポーツを支える人材の確保に繋がります。
各スポーツ、レクリエーション団体の指導者向け講習会を実施し、適切な指導知識を理解、共有できる機会を提供します。

施策の方向③ 選手の育成と支援

主な取り組み
活動場所の提供や各競技団体のPR等により、地域の競技スポーツ振興を担うスポーツ協会の活動に対する支援を行います。
全国大会等に出場した個人・団体に対し奨励金を支給します。その活躍を広報誌等で広く市民に周知を行います。
2026年アジア・アジアパラ競技大会やオリンピック・パラリンピックに出場する選手に対し、応援事業を実施し、より一層の活躍を支援します。

4 「つながる」元気ッス！

【現状と課題】

- スポーツは、「する」、「みる」、「ささえる」それぞれの側面で参加した人が「つながる」力があります。そして、人と人のつながりは、まちの賑わいに大きな影響を与えます。スポーツの実施をまちづくりの一環と捉え、地域活性化に活かすものとなるよう、スポーツ推進にあたる必要があります。
- 地域内外から多くの人が訪れる大会、イベントの開催を本市の魅力を発信する機会と捉え、スポーツ実施とシティプロモーションを連動させる取り組みが求められます。
- とりわけ多くの人が集うアジア競技大会について、「2026 年アジア競技大会が愛知県で開催され、碧南市が競技会場予定地であることを知っていますか」というアンケート調査の問いでは、「知っている」が 36.2%、「碧南市が競技会場予定地であることは知らなかった」が 16.2%、「知らなかった」が 46.9%という結果でした。市内外から多くの人が集まる大規模大会として、多くの交流、つながりが生まれる機会となるよう、認知度の向上を図る必要があります。
- 2026 アジア競技大会の開催を契機としたスポーツ機運を一過性のものとせず、大会のレガシーを継承できる取組みの検討が求められます。



「スポーツ推進・地域活性化に関するパートナー協定」を結ぶトヨタ自動車株式会社
ビーチバレーボール部と協力しながら開催しているビーチバレーボールのスポーツ教室

施策の方向① 大会・イベントの実施

主な取り組み
大規模な大会、イベントの実施により、市内外から多く参加者、関係者が本市に訪れる機会を創出し、交流や賑わいづくりを促進します。
パートナー協定等を結ぶ企業スポーツチームとの連携強化を図ります。企業チームの主催試合の開催や広報活動を推進する一方、市におけるイベントや教室開催等への協力を得るなど、地域振興とスポーツ振興の取り組みを進めます。

施策の方向② スポーツによるまちの魅力創造

主な取り組み
大会、イベントの開催と併せ、シティプロモーションに取り組み、市の魅力発信に努め、スポーツと地域振興の連携を図ります。
魅力ある大会、イベントを開催するため、本市の特色がPRができるよう、地元企業や商工団体等と協力関係を構築していきます。
2026アジア競技大会の競技会場予定となっている碧南緑地ビーチコートを活用した大会レガシーの創出に取り組みます。



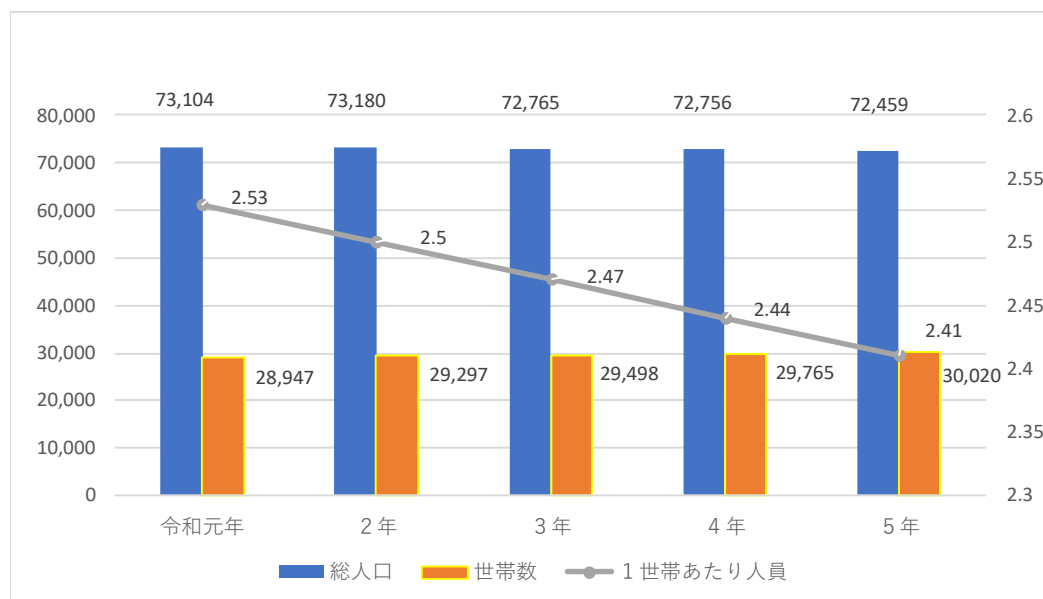
「HEKINAN マンモスカップ全日本ビーチバレーボール中学選手権大会」
中学生の2人制ビーチバレーボールの全国大会として令和3年度から開催している

資料編

1 碧南市の人口、世帯の状況

(1) 総人口及び世帯数の推移

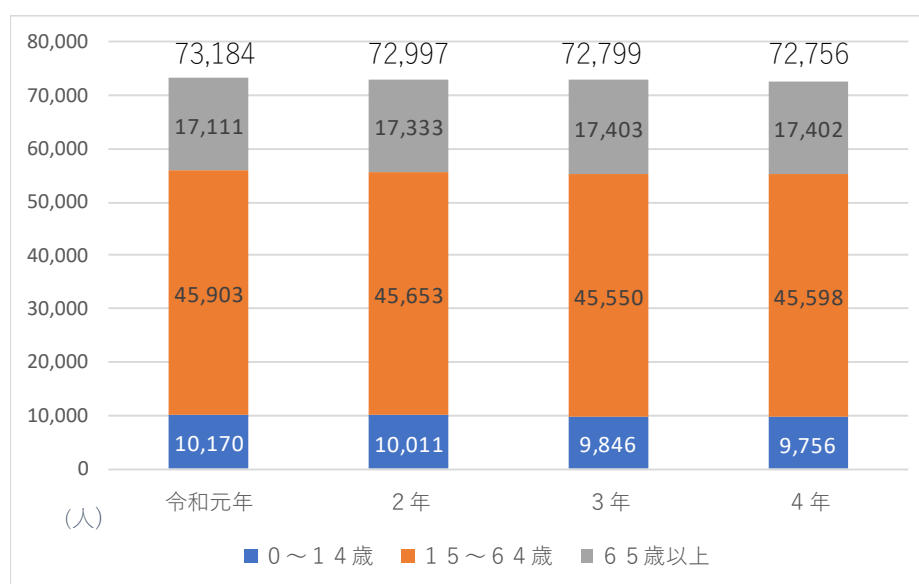
碧南市の総人口の推移をみると微減、世帯数は微増傾向となっています。また、1世帯あたり人員は年々減少しています。



参考：碧南の統計
(各年3月31日現在
外国人人口含む)

(2) 年齢3区分別人口の推移

年齢3区分別人口の推移をみると、総人口及び各区分人口において、微減傾向となっています。



参考：碧南の統計
(各年9月30日現在)

2 碧南市のスポーツ関係団体の状況

(1) 碧南市スポーツ協会（種目別加盟者数）

（人）

種目	令和 2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
空手道	362	367	364	358	352
弓道	40	41	47	47	46
ゲートボール	55	50	51	42	39
剣道	115	115	110	119	117
サッカー	1,441	1,426	1,309	1,328	1,271
柔道	95	89	84	81	78
スキー	19	25	21	16	16
ソフトテニス	115	86	101	102	82
ソフトボール	312	324	375	324	310
卓球	414	200	216	294	143
テニス	138	142	149	152	161
軟式野球	1,620	1,537	1,428	1,578	1,365
バスケットボール	354	354	297	282	283
バドミントン	72	74	78	59	66
バレーボール	587	528	513	506	458
ヨット	260	260	253	173	172
陸上競技	371	427	417	393	307
合 計	6,370	6,045	5,813	5,854	5,266

(2) 碧南市スポーツ少年団（種目別団員数）

（人）

種目	令和 2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
空手道	155	175	152	164	150
卓球	16	15	16	17	33
サッカー	552	566	566	594	592
剣道	32	29	30	22	25
野球	245	223	210	220	209
新体操	57	58	55	56	52
ソフトテニス	20	18	21	26	26
陸上競技	38	46	60	64	50
バスケットボール	53	56	63	95	126
合 計	1,168	1,186	1,173	1,258	1,263

(3) 碧南市レクリエーション協会（種目別会員数）

種目	令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
囲碁クラブ	20 人	20 人	20 人	—	—
碧南レクリエーション 指導者協議会	24 人	21 人	25 人	23 人	23 人
碧南市インドアカ協会	25 人	19 人	10 人	—	—
碧南市グラウンドゴルフ協会	292 人	253 人	210 人	195 人	193 人
アイディアC体創協会	177 人	155 人	149 人	143 人	145 人
碧南レクポン協議会	193 人	187 人	180 人	160 人	144 人
碧南スポーツウエルネス吹矢 愛好会	45 人	41 人	43 人	31 人	28 人
Hekinan スラックラインクラブ	21 人	—	—	—	—
コバヤシ パフォーマンスアップlab	5 人	5 人	5 人	7 人	7 人
合 計	802 人	701 人	642 人	559 人	540 人

3 スポーツ施設の状況

(1) 社会体育施設の利用状況（令和5年度）

団 体 利 用				個人利用	人数合計
施 設 名		件 数	人 数	人 数	人 数
臨海体育館	アリーナ	715	43,027	1,043	44,070
	第一体育室	883	33,388	411	33,799
	第二体育室	252	9,496		9,496
	トレーニング室			17,416	17,416
勤労者体育センター	体育室	2,047	25,319		25,319
臨海公園	グラウンド	463	22,457		22,457
	テニスコート	4,557	40,104		40,104
	ドーム	2,396	38,064		38,064
水源公園	グラウンド	356	12,195		12,195
	テニスコート	1,436	12,617		12,617
羽久手公園	グラウンド	448	18,397		18,397
	テニスコート	542	5,489		5,489
港湾スポーツセンター	テニスコート	3,733	30,599		30,599
	弓道場	63	1,381	4,198	5,579
碧南緑地	少年サッカー場	130	6,241		6,241
	ビーチコート	1,497	35,953		35,953
沢渡公園グラウンド		550	9,966		9,966
道場山西公園グラウンド		133	1,913		1,913
碧公園グラウンド		130	10,693		10,693
玉津浦グラウンド		566	42,785		42,785
2号地グラウンド		101	10,590		10,590
2号地運動広場		123	15,600		15,600
2号地多目的グラウンド		298	48,083		48,083
港南グラウンド		161	11,511		11,511
日進ゲートボール場		282	4,680		4,680
油ヶ渚地域運動広場		1,192	37,900		37,900
合 計		23,414	535,339	23,068	558,407

(2) 学校体育施設の開放種目の登録状況

団体数(人数)

種目	令和2年度	3年度	4年度	5年度
バレーボール	15(266)	17(266)	19(450)	18(384)
バスケットボール	19(399)	19(392)	19(375)	21(409)
卓球	3(108)	2(77)	2(36)	2(41)
野球	8(300)	6(268)	6(265)	6(240)
ソフトバレーボール	9(127)	8(110)	9(121)	8(115)
バドミントン	5(80)	5(83)	6(90)	7(101)
サッカー・フットサル	17(2,344)	15(2,442)	17(2,452)	18(2,496)
インディアカ	2(25)	2(24)	1(10)	1(11)
体操	7(183)	9(212)	8(184)	7(173)
その他	12(332)	14(329)	12(293)	11(283)
合 計	97(4,164)	97(4,203)	99(4,276)	99(4,253)

4 スポーツ行事等の開催状況（令和5年度）

（１） 市民参加型スポーツ行事

NO	行 事 名	参加人数	期 日	会 場
1	第19・20回PROTOSTARS CUP	約150人	4月29,30日	碧南緑地ビ〜チコート
2	チャレンジデー2023	47,068人	5月31日	市内一円
3	市民体力テスト	38人	6月19日	臨海体育館
4	令和5年度市民バドミントン選手権大会	150人	6月24日	臨海体育館
5	夏の新体操発表会	38人	6月25日	臨海体育館
6	第49回市長杯争奪ママさんバレーボール大会	60人	7月21日	東部市民プラザ
7	大型ヨット体験乗船	49名	7月30日	新川港
8	第18回らくらくソフトボール大会	8チーム	7・8月	玉津浦グラウンド
9	第71回中日杯争奪西三河優勝卓球大会	219人	8月6日	臨海体育館
10	第11回やろまいペタボード大会	25チーム	8月26日	臨海体育館
11	令和5年度秋季市民スポーツ大会	16種目	9月〜	臨海体育館等
12	障害者グラウンド・ゴルフ大会	13人	10月7日	臨海公園ドーム
13	第19回ディスクドッジ大会inへきなん	6チーム	10月14日	碧南緑地ビ〜チコート
14	秋の新体操発表会	65人	11月23日	臨海体育館
15	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」	4クラス	12月19,20日 1月12日	新川小
16	第57回へきなんマラソン	466人	12月17日	臨海公園周辺
17	令和5年度市民スキー事業	39人	1月27,28日	福井県和泉スキー場
18	トヨタ自動車野球部選手による野球教室（小中学生対象）	90人	1月27日	臨海公園グラウンド
19	第65回碧南市民卓球選手権大会	192人	1月28日	南部市民プラザ
20	第51回碧南市民駅伝大会・碧南小学生駅伝2024	一般60チーム 小学生31チーム	3月3日	市内一円
21	第21,22回PROTOSTARS CUP	約130人	3月23,24日	碧南緑地ビ〜チコート

（２） 碧南市で開催した全国大会や企業クラブチームによる大会

NO	行 事 名	観客数	期 日	会 場
1	ジャパンビーチバレーボールツアー2023 アンダーエイジ	100人	4月1,2日	碧南緑地ビーチコート
2	HEKINANカップ2023	300人	4月22,23日	碧南緑地ビーチコート
3	第18回全国女子軟式野球選抜交流碧南大会	250人	5月3,4日	臨海・玉津浦グラウンド
4	第3回全国中学生ビーチバレーボール選手権大会	300人	8月19,20日	碧南緑地ビーチコート
5	ジャパンビーチバレーボールツアー2023 サテライト	200人	9月30日, 10月1日	碧南緑地ビーチコート

6	ジャパンビーチバレーボールツアー2023 アンダーエイジ	100人	11月18,19 日	碧南緑地ビーチコート
7	Vリーグ碧南大会	500人	12月12,13 日	臨海体育館
8	Vリーグ碧南大会	500人	1月20,21日	臨海体育館
9	Wリーグバスケットボール碧南大会	600人	2月24,25日	臨海体育館
10	Vリーグ碧南大会	500人	3月9,10日	臨海体育館

5 スポーツに関する協定等の締結状況

締結先（チーム等・競技）	名称	締結日
シーホース三河株式会社（シーホース三河・バスケットボール）	スポーツ推進・地域活性化に関するパートナー協定	平成30年6月26日
アイシン辰栄株式会社（アイシンティルマーレ碧南・バレーボール）	地域包括連携協定	令和元年11月20日
トヨタ自動車株式会社（ビーチバレーボール部・ビーチバレーボール）	スポーツ推進・地域活性化に関するパートナー協定	令和4年8月23日
三河バイフットボールクラブ株式会社（FC刈谷・サッカー）	スポーツ推進・地域活性化に関するホームタウンパートナー協定	令和5年2月16日

アンケート調査結果

「第2次碧南市スポーツ推進計画」の策定にあたり、本市のスポーツに関する市民の意識やニーズ等を把握することを目的に市民アンケートを実施しました。

【調査の方法】

調査対象者 : 碧南市在住の市民
抽出方法 : 住民基本台帳より1,500人を無作為抽出
調査期日 : 令和6年9月19日～10月10日
調査方法 : 郵送により配布し、回答は郵送及びオンライン（あいち電子申請・届出システム）による

配布数	回答数	回収率
1,500	580(郵送 400、オンライン 180)	38.7%

※参考

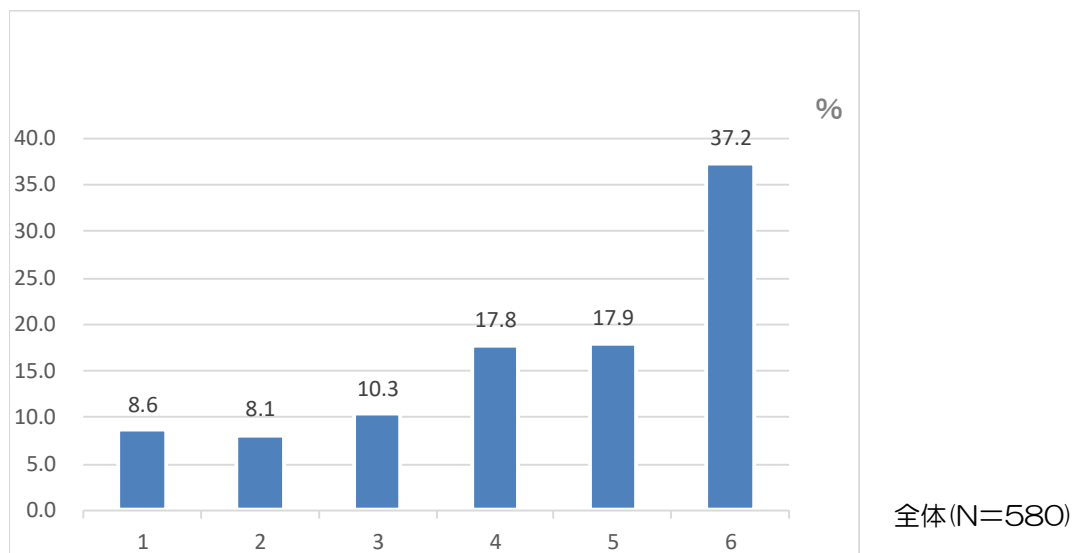
碧南市スポーツ推進計画 中間見直し(令和元年度)時のアンケート調査では、配布数1,500に対し、回答数579(郵送のみ)で回収率38.6%でした。

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計値が100.0%にならない場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を表しています。

1 あなたのことについて

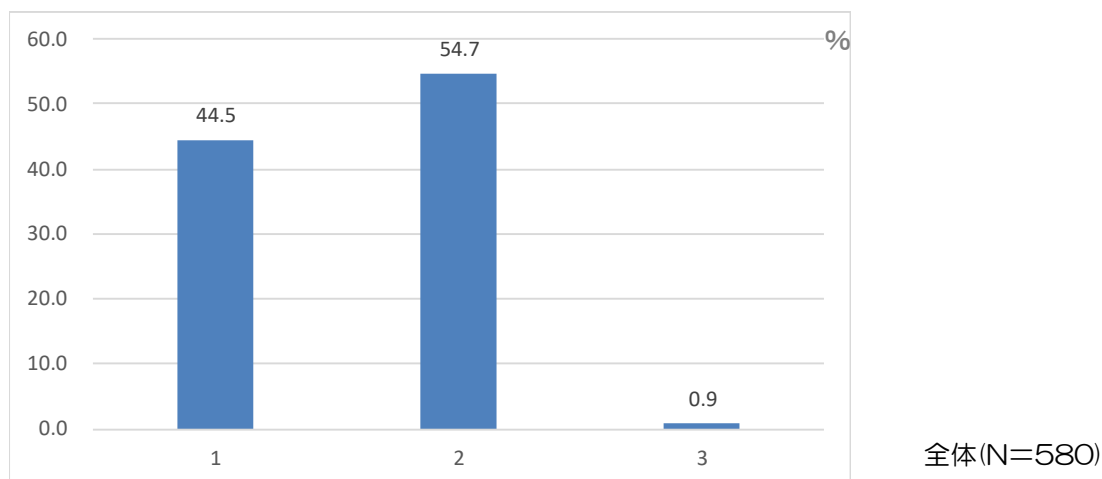
問1 ご年齢を教えてください【1つ選択】

回答者の年齢についてみると、「70歳代以上」が 37.2%と最も高く、次いで「70歳代」が 17.9%、「50歳代」が 17.8%となっています。



- | | | |
|----------|---------|-----------|
| 1. 29歳以下 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 |
| 4. 50歳代 | 5. 60歳代 | 6. 70歳代以上 |

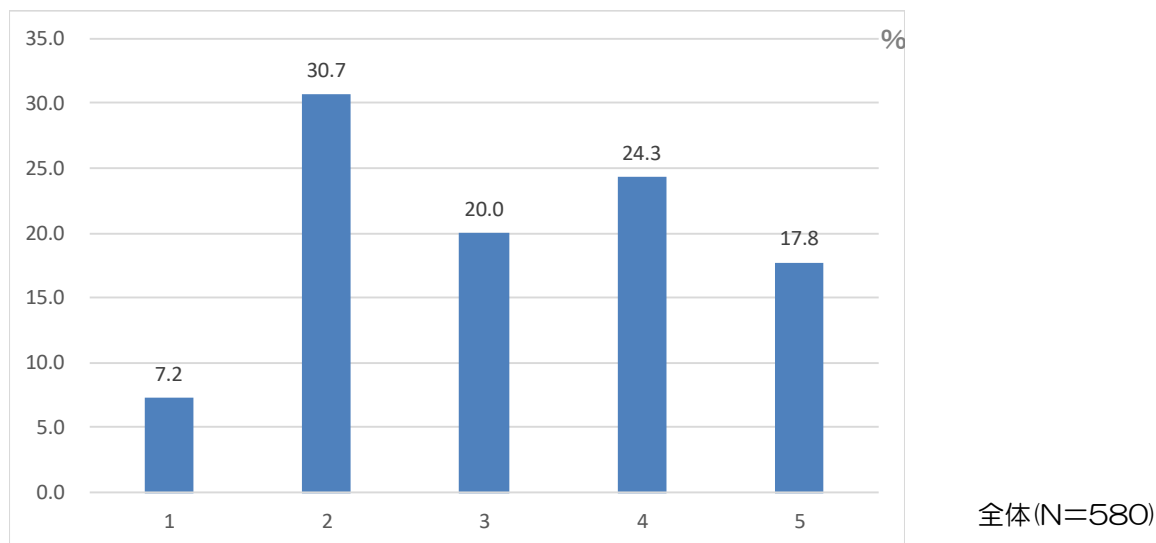
問2 性別を教えてください【1つ選択】



- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 回答しない |
|-------|-------|----------|

問3 家族構成を教えてください(あなた自身を含む)【1つ選択】

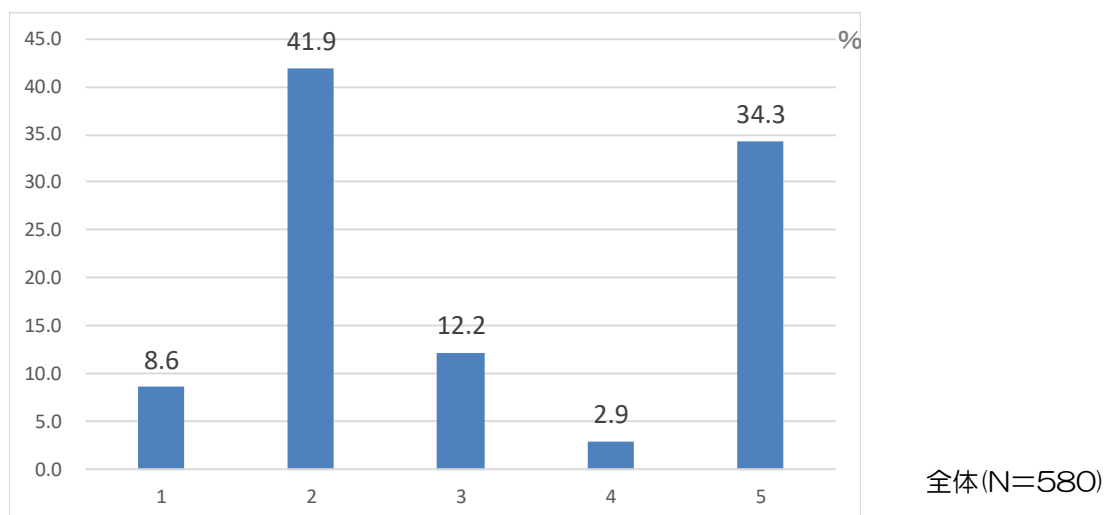
家族構成についてみると、「2人」が 30.7%と最も高く、次いで「4人」が 24.3%、「3人」が 20.0%でした。



1. 1人(单身) 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

問4 ご職業を教えてください【1つ選択】

回答者の職業についてみると、「おつとめ」が 41.9%と最も高く、次いで「無職・その他」が 34.3%、「専業主婦(夫)」が12.2%でした。



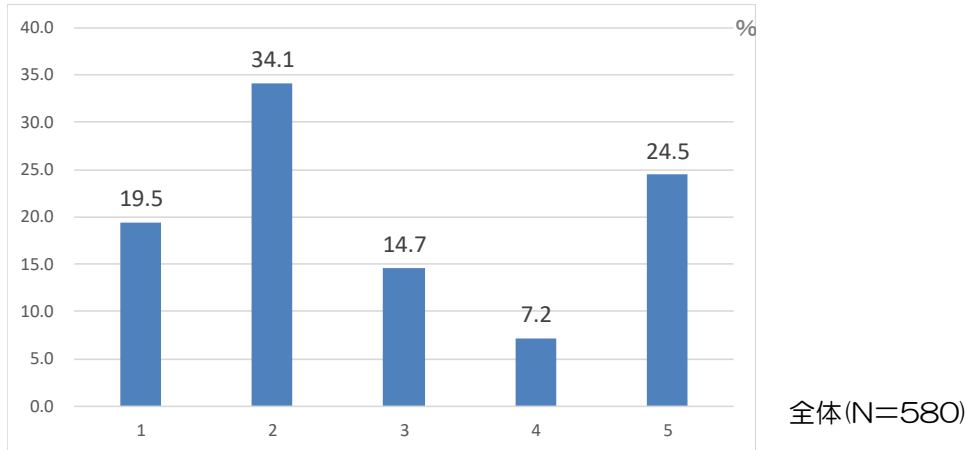
1. 自営 2. おつとめ 3. 専業主婦(夫) 4. 学生 5. 無職・その他

2 スポーツ(運動)について

問5 スポーツ・運動をするのが好きですか【1つ選択】

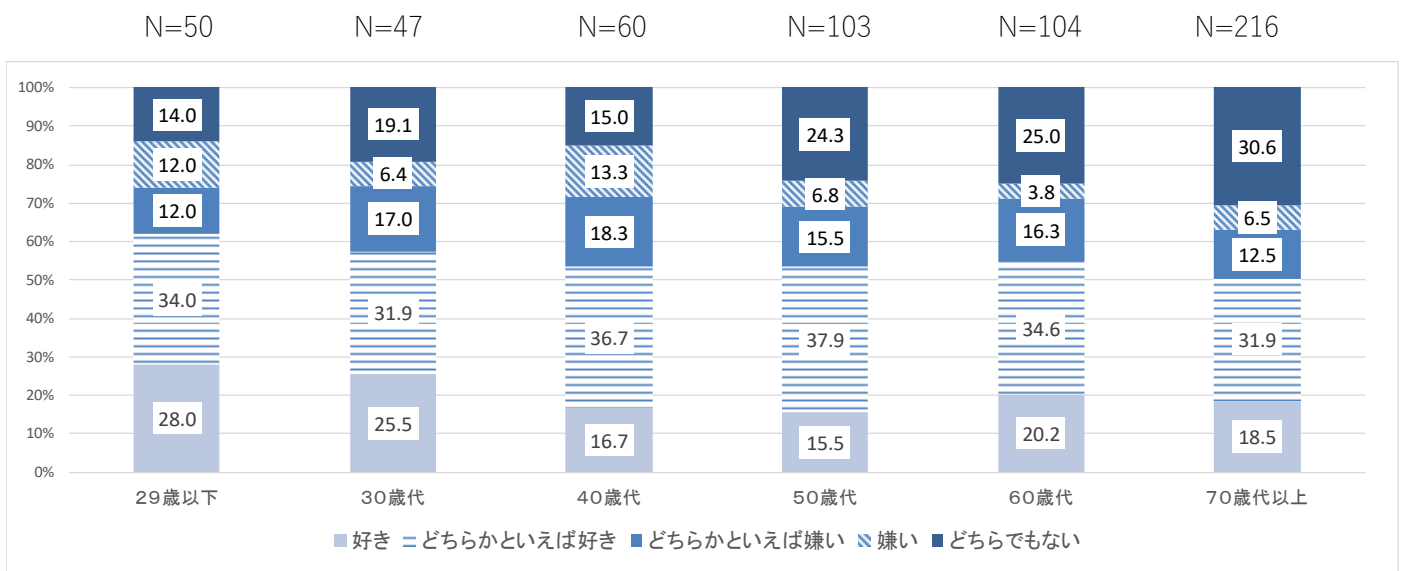
スポーツ・運動が好きか嫌いかという問いにおいては、「どちらかといえば好き」が 34.1%と最も高く、次いで「どちらでもない」が 24.5%、「好き」が 19.5%となっています。

年代別でみると、「好き」、「どちらかといえば好き」の割合が最も高いのが「29歳以下」で62.0%で、最も低いのが「70歳代以上」で 50.4%でした。年代が上がるに連れてスポーツ・運動を好きと答える割合が低くなる傾向があります。



1. 好き 2. どちらかといえば好き 3. どちらかといえば嫌い
4. 嫌い 5. どちらでもない

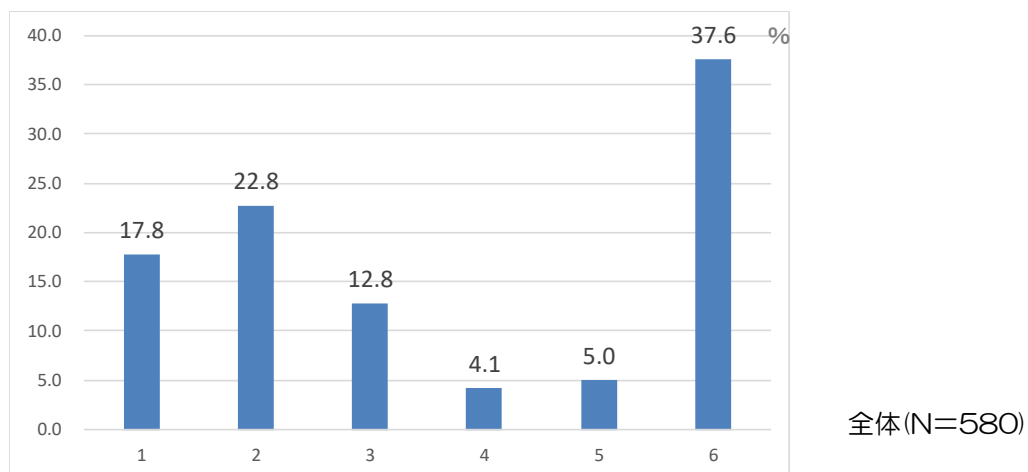
【年代別】



問6 スポーツ・運動をしていますか【1つ選択】

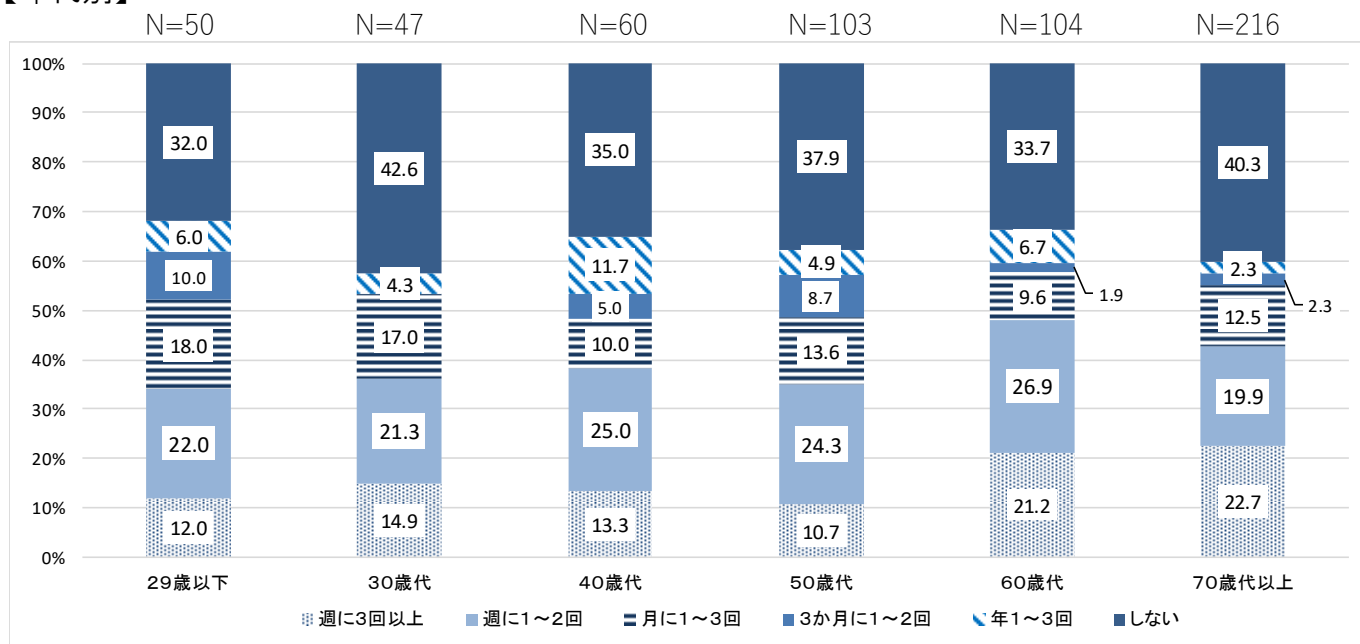
スポーツ・運動をしているかという問いにおいては、「しない」が 37.6%と最も回答割合が高い結果となりました。「週に3回以上」、「週に1～2回」の割合が本市における「スポーツ実施率」となり、40.6%でした。

年代別の「スポーツ実施率」をみると、最も高かったのが「60歳代」が 48.1%で、最も低かったのが「29歳以下」で 34.0%でした。年代が低いほど、「スポーツ実施率」が低い傾向となりました。



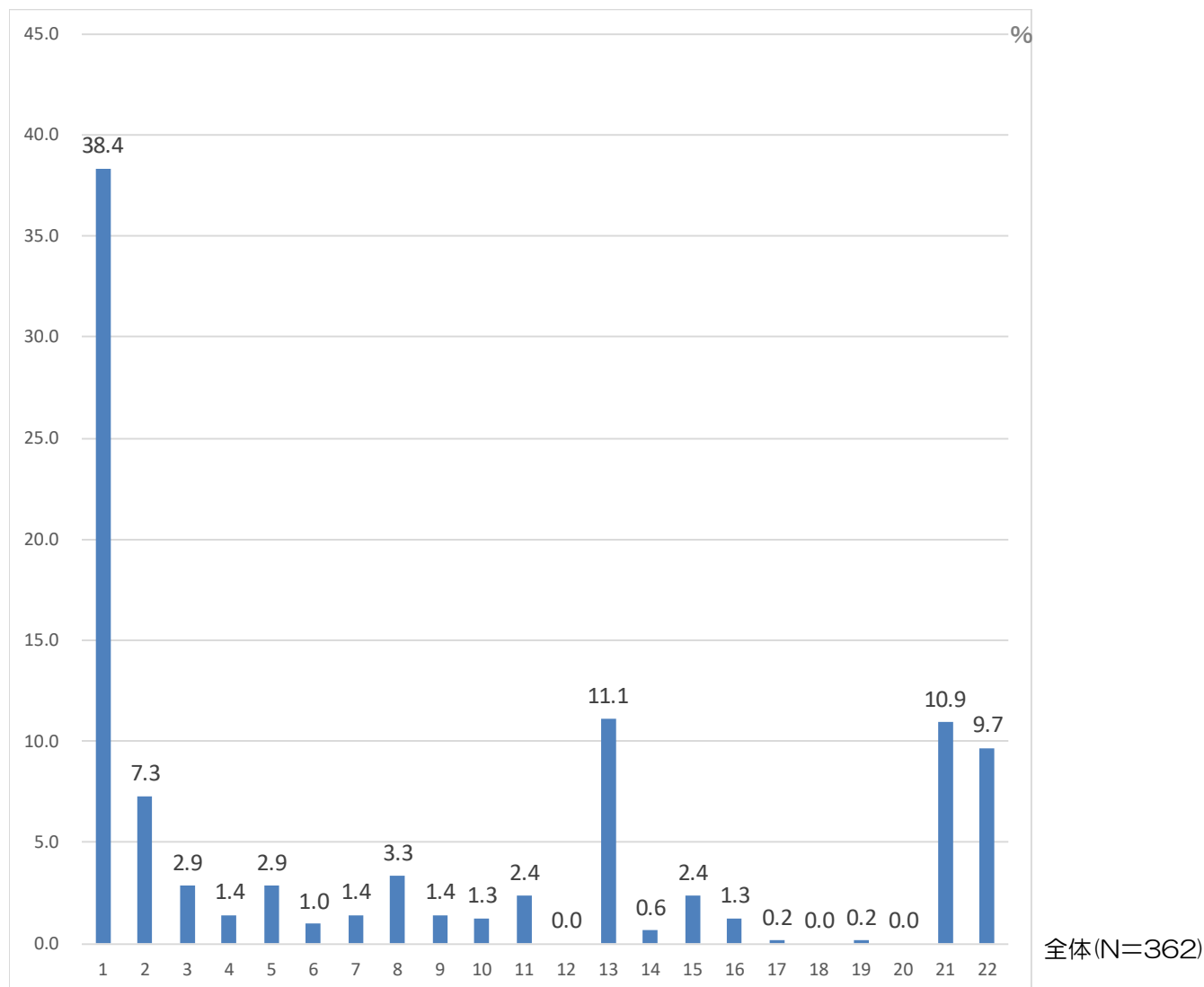
- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. 週に3回以上 | 2. 週に1～2回 | 3. 月に1～3回 |
| 4. 3か月に1～2回 | 5. 年1～3回 | 6. しない |

【年代別】



問7（問6で1～5を回答した方）現在行っているスポーツ・運動を教えてください【3つまで選択可】

行っているスポーツ・運動の内容では、「ウォーキング、徒歩」が 38.4%と最も高く、次いで「ストレッチ、ヨガ」が 11.1%、「筋力トレーニング」が 10.9%となっています。



1. ウォーキング、散歩 2. ゴルフ 3. 水泳 4. バドミントン 5. ダンス、新体操等
6. スキー等 7. テニス等 8. 卓球等 9. 野球、ソフトボール
10. サッカー、フットサル 11. ジョギング、ランニング、マラソン 12. 陸上競技
13. ストレッチ、ヨガ 14. バレーボール 15. グラウンドゴルフ 16. バスケットボール
17. 柔道 18. 剣道 19. 空手 20. 弓道 21. 筋力トレーニング 22. その他

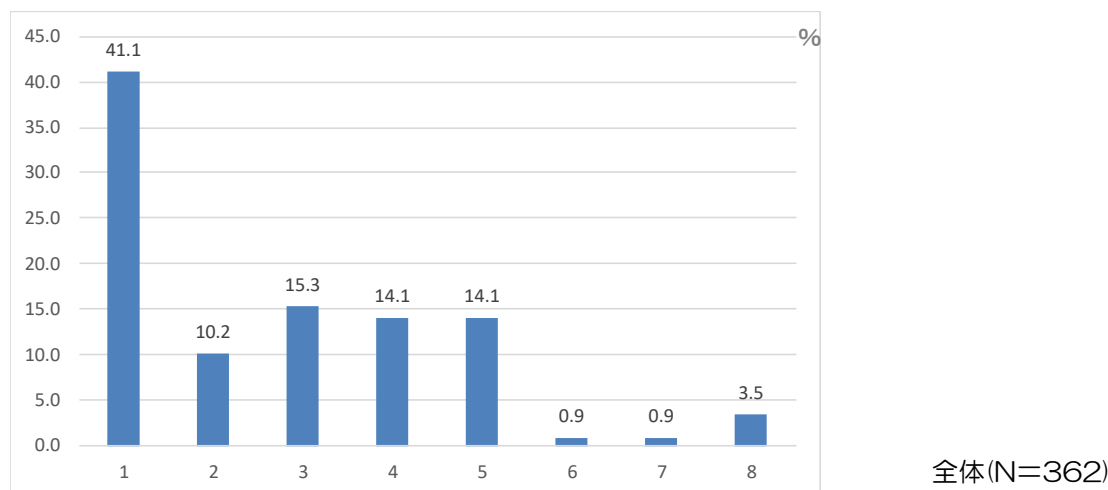
<その他>

サイクリング (9)、エアロビクス (3)、ズンバ、ボーリング (3)、スケートボード、eスポーツ、
バッティングセンター、軽体操 (5)、ドッチボール、ハイキング・登山 (3)、フラダンス、農作業、
ペタボード、ボルダリング、水中ウォーキング、太極拳 (3)、ウェイクボード

問8 (問6で1～5を回答した方)スポーツ・運動をする理由を教えてください【3つまで選択可】

スポーツ・運動をする理由では、「健康、体力づくり」が41.1%と最も多くなっています。

年代別の回答をみると、「60歳代」、「70歳代」の半数近くが「健康、体力づくり」となっており、「介護予防」を含めると6割以上の回答割合となっています。「50歳代」以下では「ダイエット」や「ストレス発散」といった項目の割合も多くなっています。

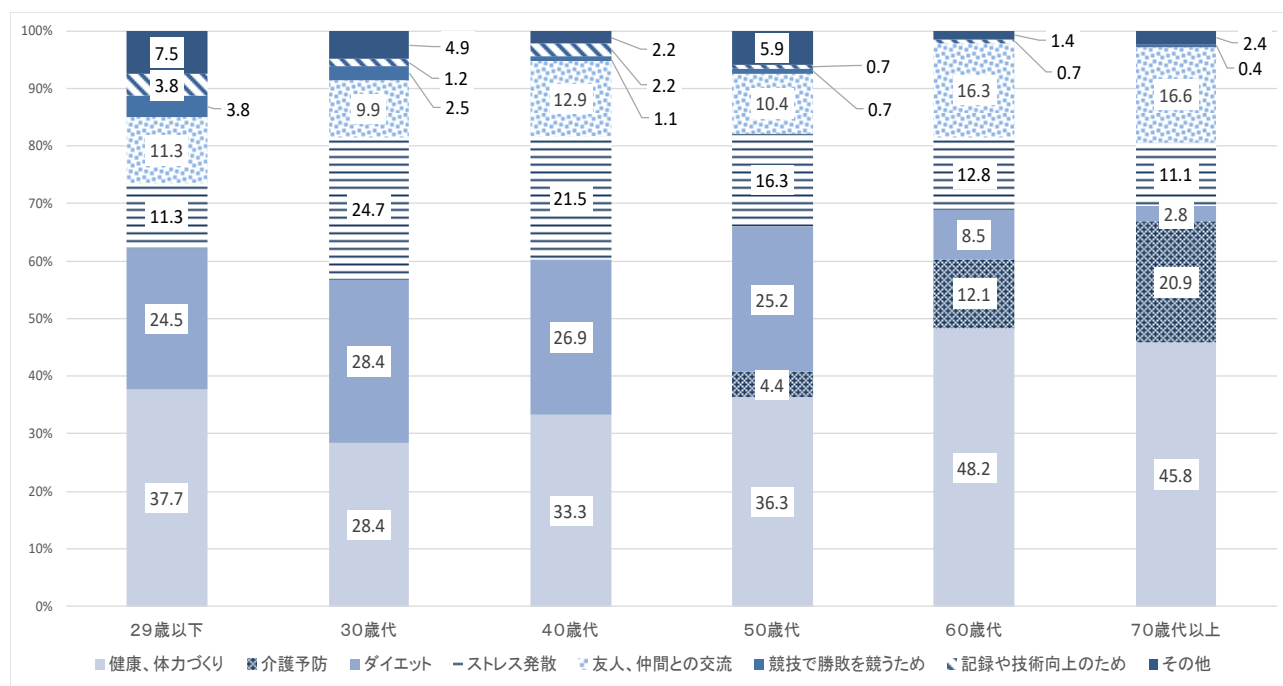


1. 健康、体力づくり 2. 介護予防 3. ダイエット 4. ストレス発散
 5. 友人、仲間との交流 6. 競技で勝敗を競うため 7. 記録や技術向上のため
 8. その他

<その他>

少年野球のコーチ、仕事として、指導、趣味として(2)、犬の散歩(2)、楽しいから、子どもの散歩、自己成長、暇つぶし、山歩きが好き

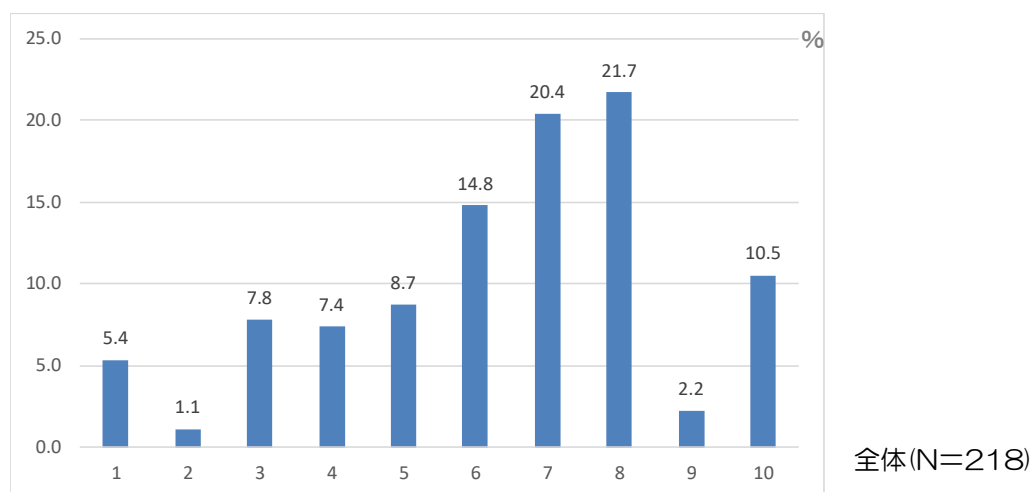
【年代別】



問9（問6で6を回答した方）スポーツ・運動をしない（できない）理由を教えてください【3つまで選択可】

スポーツ・運動をしない（できない）理由については、「意欲が湧かない」が 21.7%で最も高く、次いで「体力的に不安がある」が 20.4%、「時間的な余裕がない」が 14.8%となっています。

年代別の回答をみると、「意欲が湧かない」と回答した年代は「50歳代」が 28.1%、「40歳代」が 27.1%の順で多くなりました。「時間的な余裕がない」の回答は「29歳以下」が 23.5%と最も高く、次いで「30歳代」が 21.2%と、若い年代が多い傾向となりました。

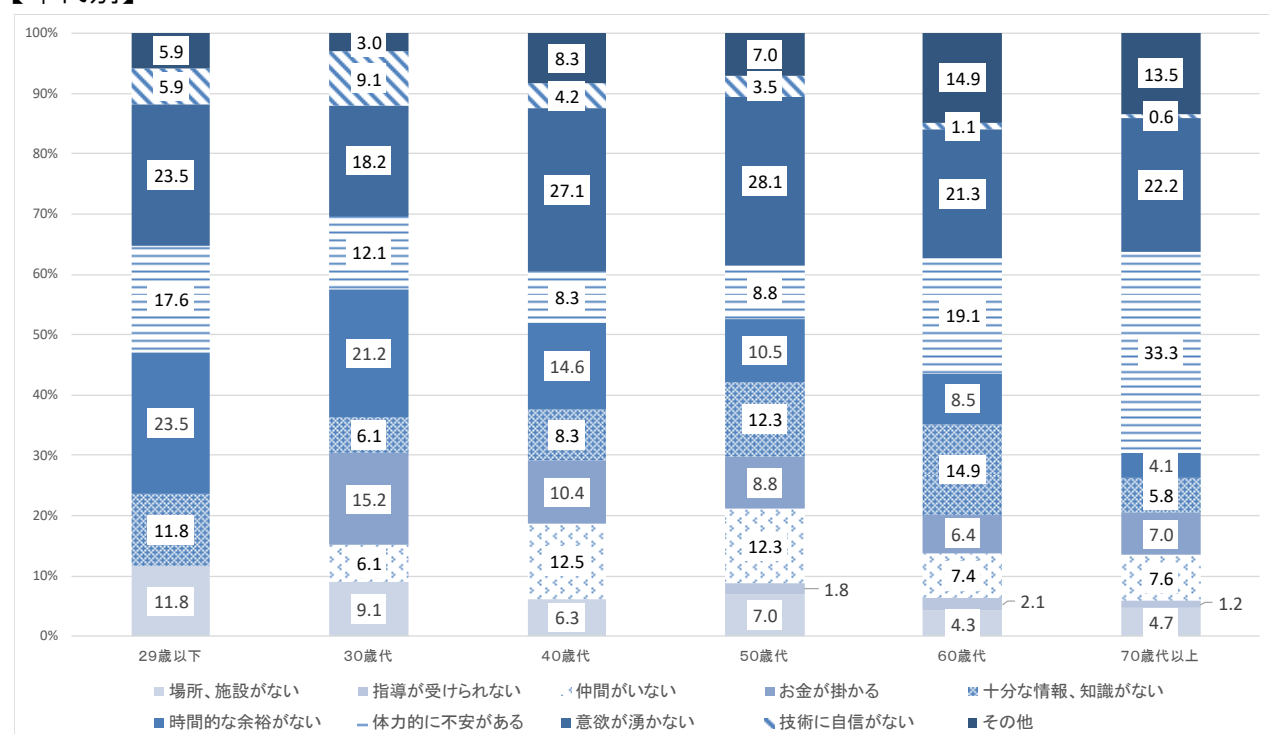


1. 場所、施設がない 2. 指導が受けられない 3. 仲間がいない 4. お金が掛かる
5. 十分な情報、知識がない 6. 時間的な余裕がない 7. 体力的に不安がある
8. 意欲が湧かない 9. 技術に自信がない 10. その他

<その他>

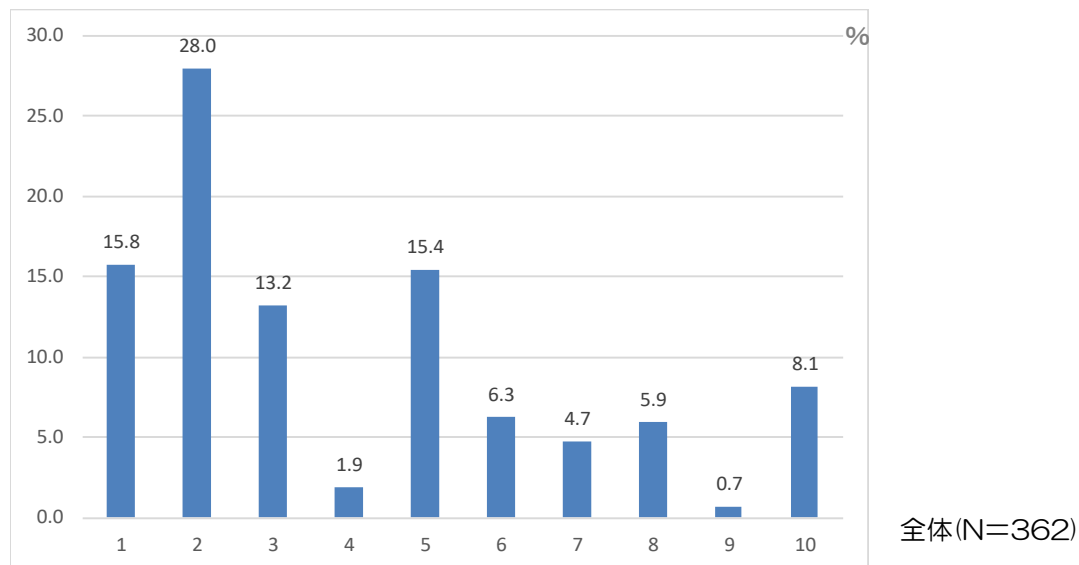
膝や腰が悪い4、持病がある6、高齢のため3

【年代別】



問10 (問6で1～5を回答した方)どこでスポーツ・運動を行っていますか【3つまで選択可】

スポーツ・運動を行っている場所については、「近所の道路や空き地」が 28.0%と最も高く、次いで「自宅」が 15.8%、「市内の公共施設」が 15.4%となっています。

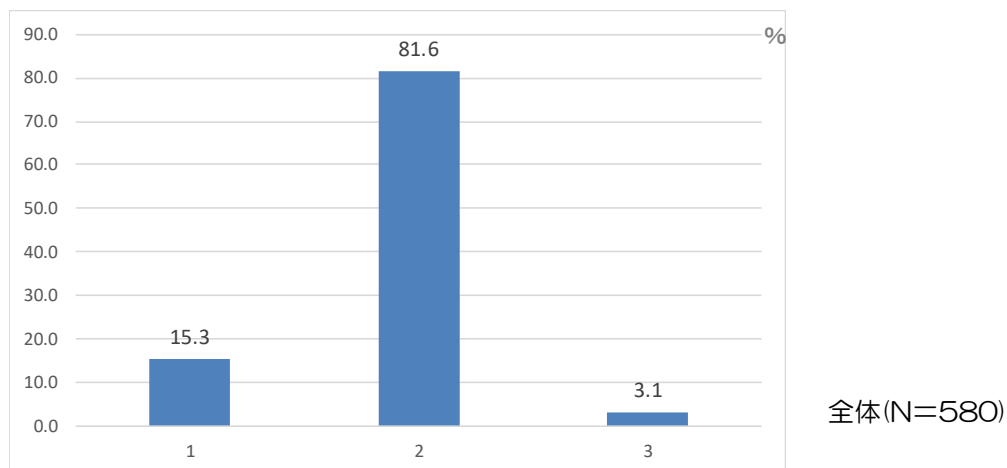


1. 自宅 2. 近所の道路や空き地 3. 公園、広場 4. 学校 5. 市内の公共施設
6. 市内の民間施設 7. 市外の公共施設 8. 市外の民間施設 9. 職場の施設
10. その他

<その他>

ゴルフ練習場 (3)、通勤、山 (2)、ボーリング場 (2)、スケートボードパーク、油ヶ淵・矢作川、お寺、ウォーキングコース、スキー場

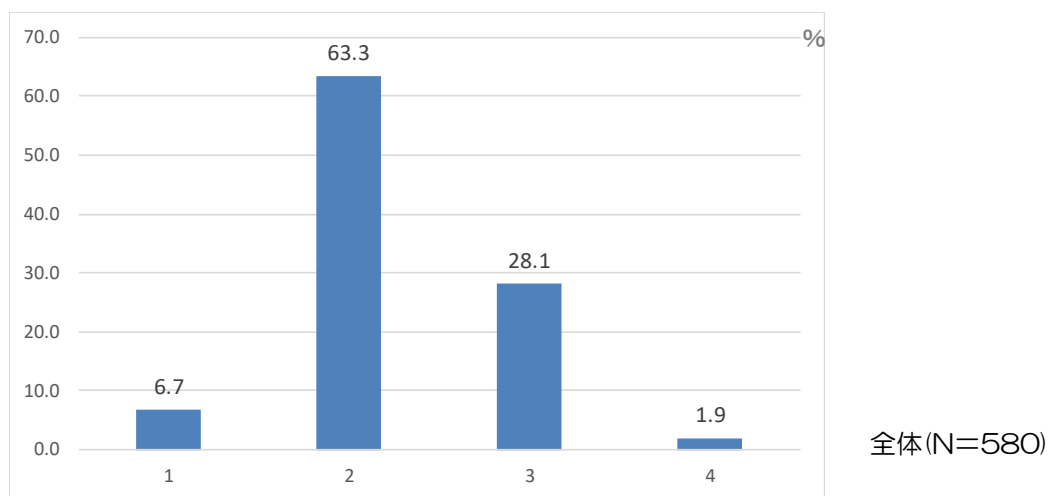
問11 スポーツ活動団体や学校等でスポーツ・運動の指導の経験がありますか【1つ選択】



1. ある 2. ない 3. 不明・無回答

問12 スポーツ・運動の指導に関わりたいですか【1つ選択】

スポーツ・運動の指導に関わりたいかという問いでは、「関わりたくない」が最も多く、63.3%でした。「わからない」が28.1%で、「関わりたくない」が6.7%でした。

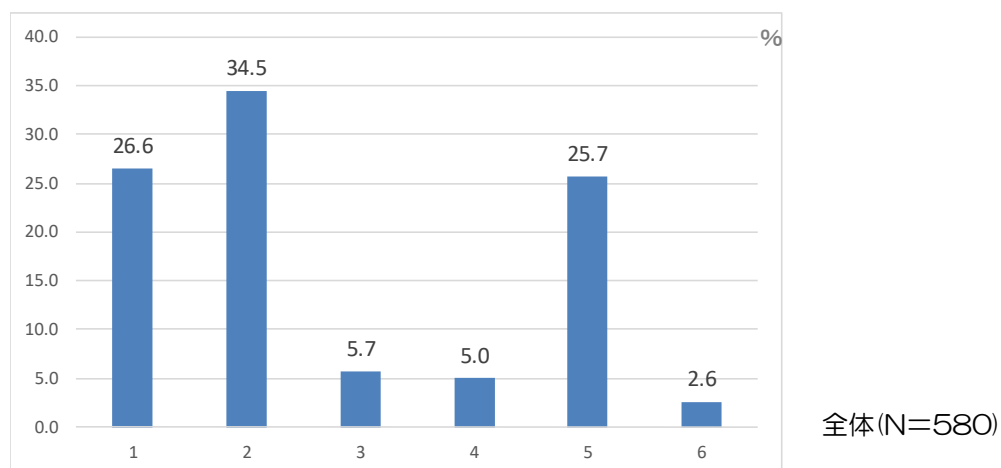


1. 関わりたい 2. 関わりたくない 3. わからない 4. 不明・無回答

問13 スポーツ観戦が好きですか【1つ選択】

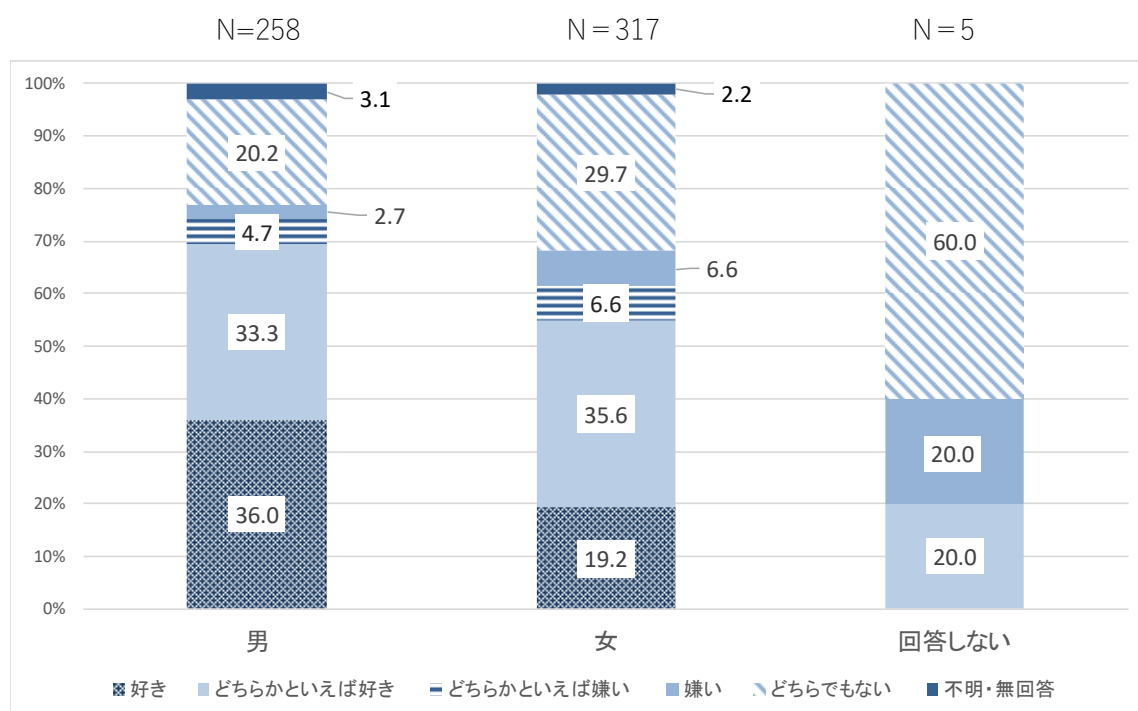
スポーツ観戦が好きかという問いでは、「どちらかといえば好き」が 34.5%と最も高く、次いで「好き」が 26.6%、「どちらでもない」が 25.7%でした。

男女別の回答をみると、男は「好き」、「どちらかといえば好き」の順で回答が多くなっていますが、女では「どちらかといえば好き」に次いで「どちらでもない」の回答が多くなっています。



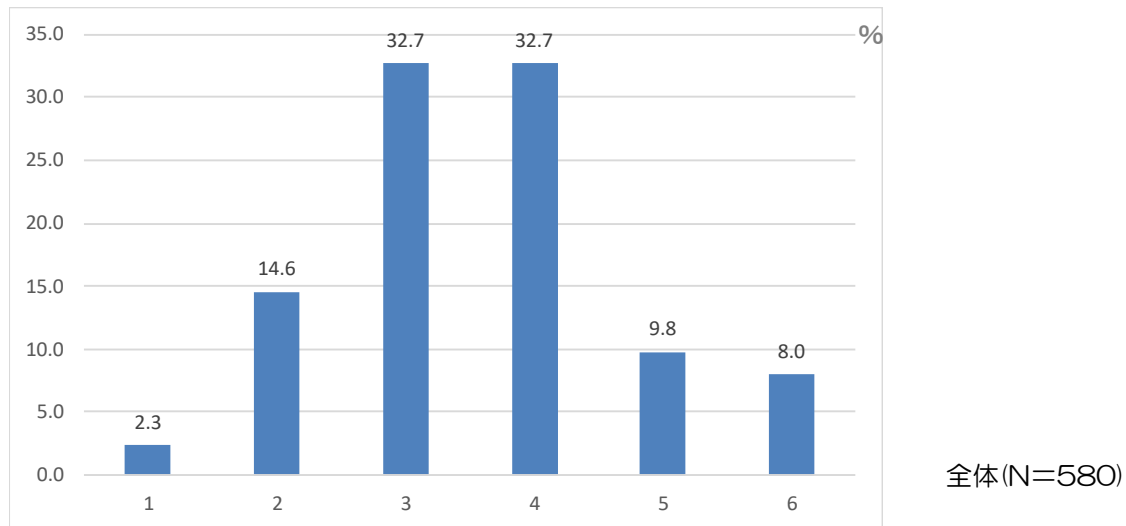
1. 好き 2. どちらかといえば好き 3. どちらかといえば嫌い
4. 嫌い 5. どちらでもない 6. 不明・無回答

【男女別】



問14 スポーツ観戦をしますか【あてはまるもの全て】

スポーツ観戦をするかという問いでは、「よくテレビ等で観戦する」、「たまにテレビ等で観戦する」が32.7%と最も高い回答割合となりました。

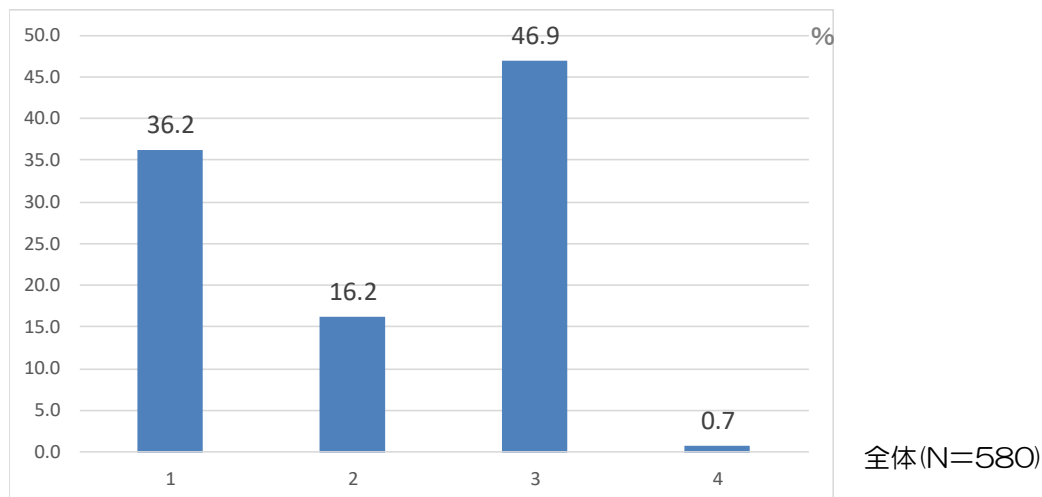


1. よく会場で観戦する 2. たまに会場で観戦する 3. よくテレビ等で観戦する
4. たまにテレビ等で観戦する 5. あまりしない 6. 全くしない

問15 2026年アジア競技大会が愛知県で開催され、碧南市が競技会場予定地であることを知っていますか【1つ選択】

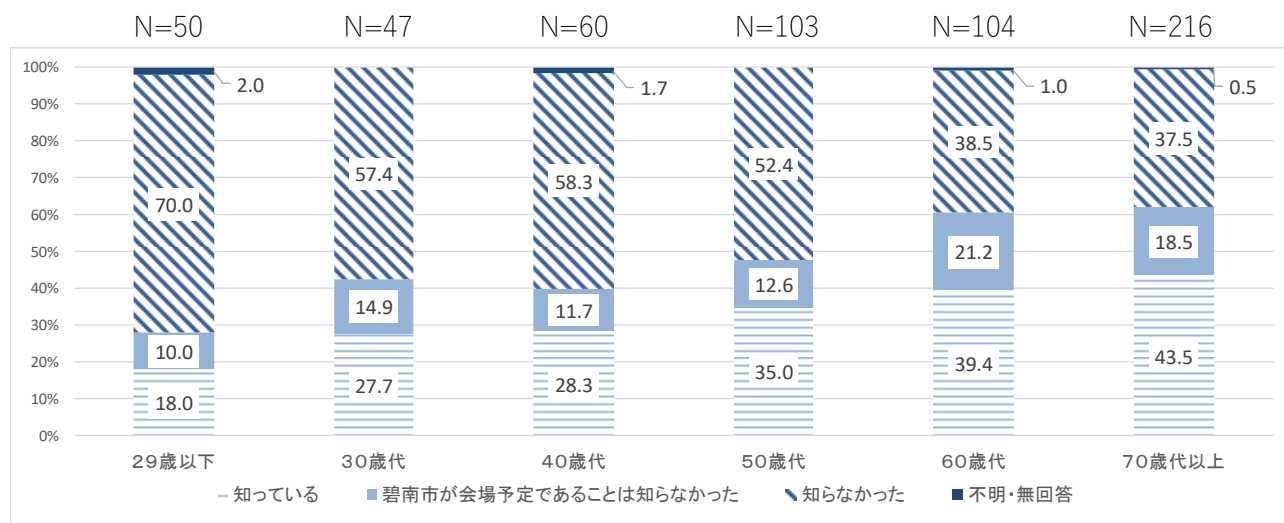
愛知県で開催されるアジア競技大会の認知度については、「知らなかった」が46.9%で、「知っている」が36.2%、「碧南市が競技会場予定地であることは知らなかった」が16.2%でした。

年代別の回答をみると、「知っている」の割合は「70歳代以上」が43.5%と最も高く、年代が低くなるに連れて知っている割合が下がる傾向となりました。



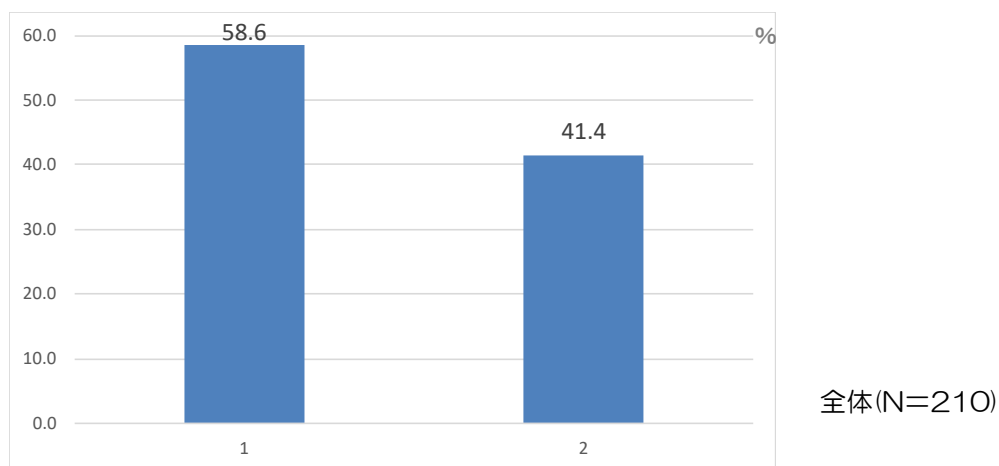
1. 知っている 2. 碧南市が競技会場予定地であることは知らなかった
3. 知らなかった 4. 不明・無回答

【年代別】



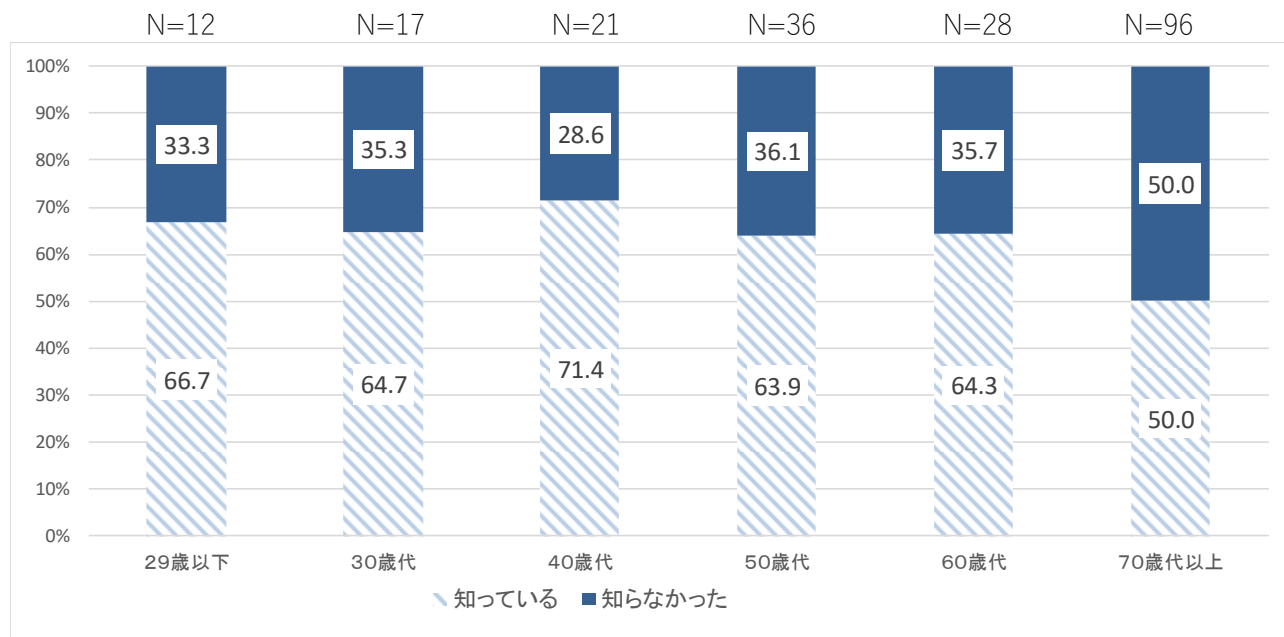
問16（問15で1を回答した方）碧南市がビーチバレーボールの競技会場予定地であることを知っていますか【1つ選択】

碧南市がアジア競技大会の会場予定地であることを知っている人に対し、対象競技種目がビーチバレーボールであることを知っているかどうかの問いでは、58.6%が「知っている」、41.4%が「知らなかった」となりました。



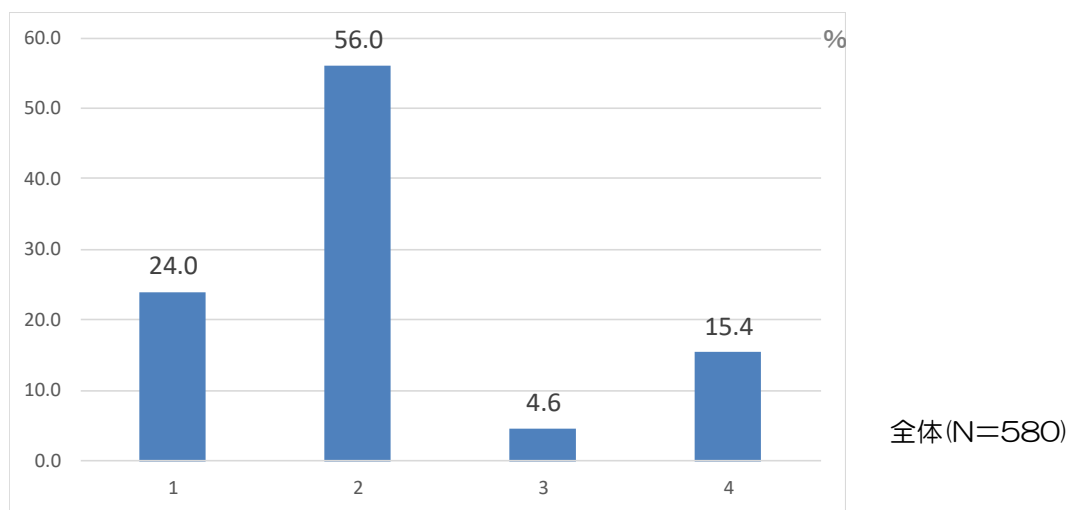
1. 知っている 2. 知らなかった

【年代別】



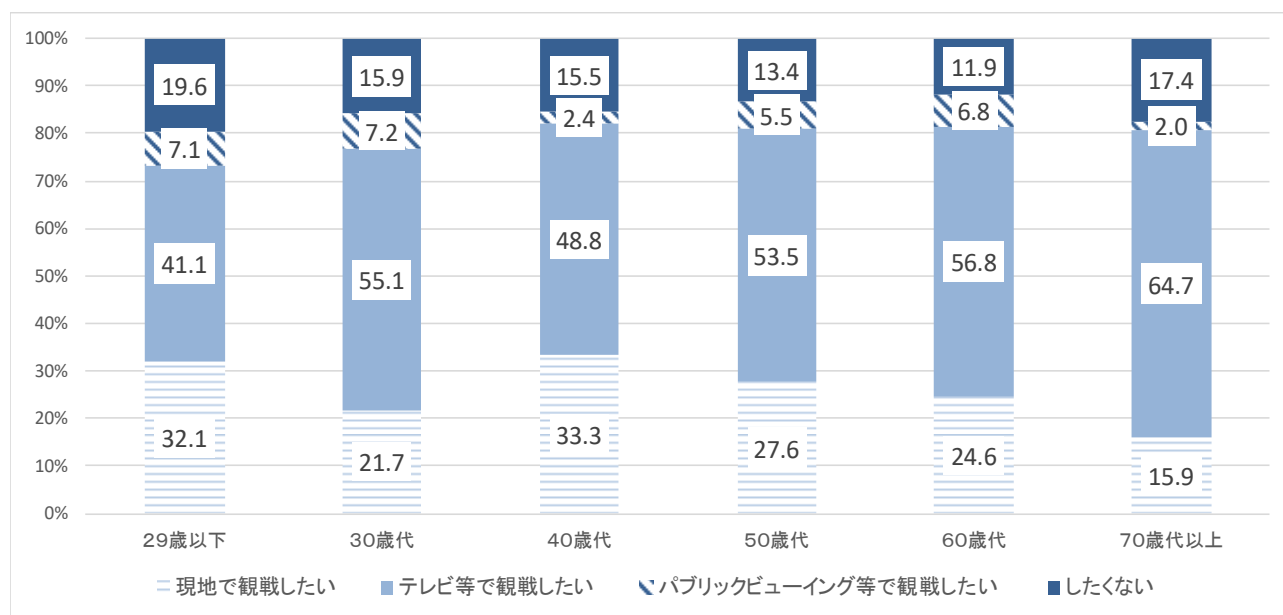
問17 2026年アジア競技大会を観戦したいですか(競技を問わず)【あてはまるもの全て】

アジア競技大会を観戦したいかについてみると、「テレビ等で観戦したい」が最も多く、56.0%でした。次いで「現地で観戦したい」が24.0%、「したくない」が15.4%でした。



1. 現地で観戦したい 2. テレビ等で観戦したい
3. パブリックビューイング等で観戦したい 4. したくない

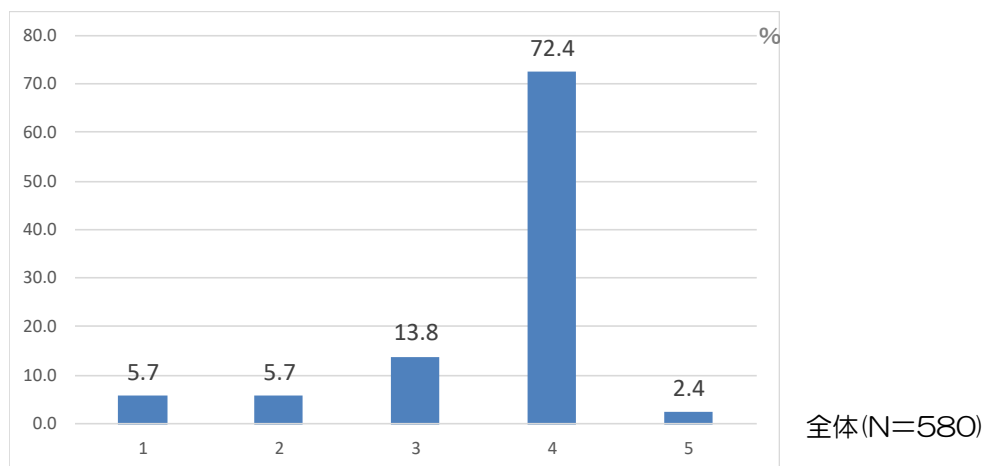
【年代別】



3 スポーツ施設について

問18 市の公共スポーツ施設を利用しますか【1つ選択】

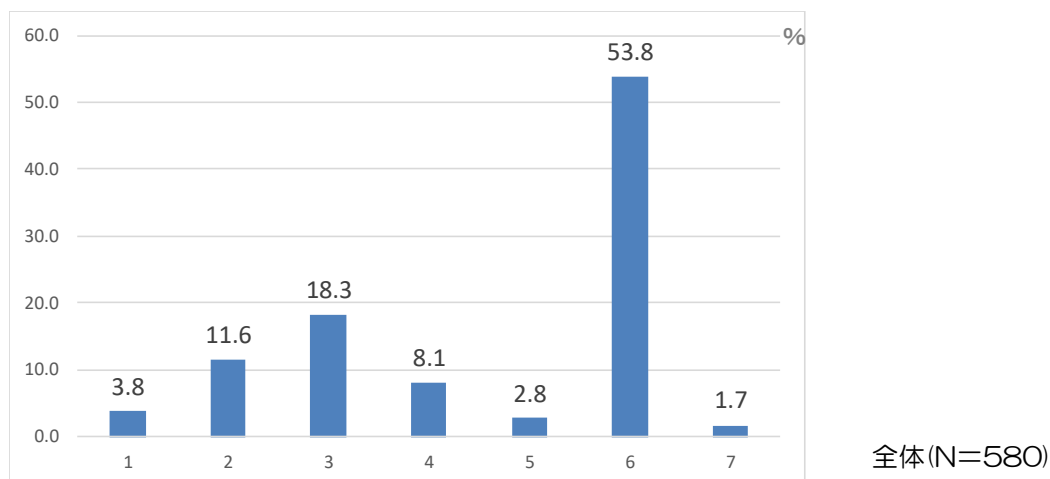
市の公共スポーツ施設を利用するかという問いでは、「全く利用しない」が 72.4%と最も高く、次いで「あまり利用しない(年に数回程度)」が 13.8%でした。



1. よく利用している(週に1回以上) 2. たまに利用している(月に数回程度)
3. あまり利用しない(年に数回程度) 4. 全く利用しない 5. 不明・無回答

問19 市の公共スポーツ施設に満足していますか【1つ選択】

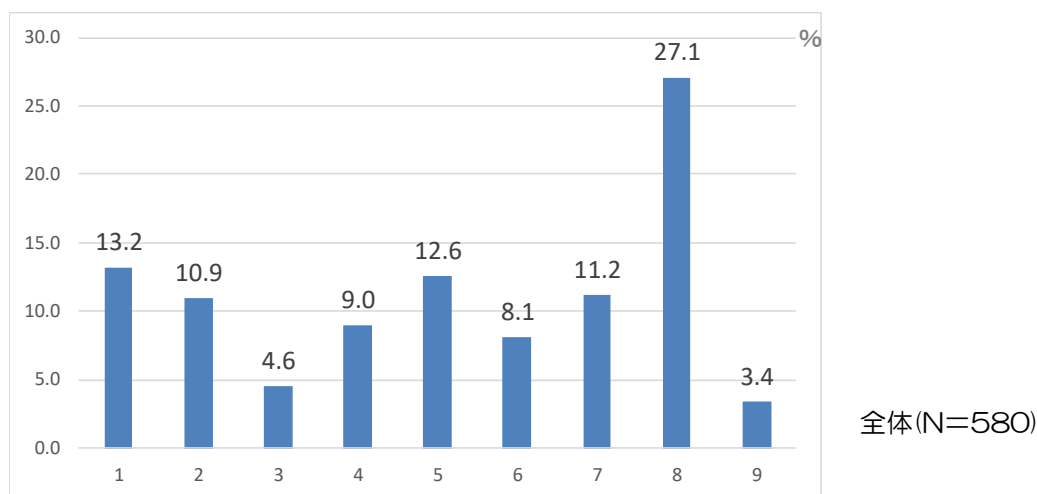
市の公共スポーツ施設に満足しているかについては、「わからない」が 53.8%と最も多く、次いで「どちらでもない」が 18.3%、「どちらかといえば満足」が 11.6%でした。



1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらでもない
4. どちらかといえば不満 5. 不満 6. わからない 7. 不明・無回答

問 20 市の公共スポーツ施設に望むことは【3つまで選択可】

市の公共スポーツ施設に望むことはという問いでは、「特にない」が27.1%と最も多く、「施設数の増加」が13.2%、「利用手続きの簡略化」が12.6%でした。



1. 施設数の増加 2. 施設の改修 3. 指導員の配置 4. 器具の充実
5. 利用手続きの簡略化 6. 利用時間帯の拡大 7. 情報の充実
8. 特にない 9. その他

<その他>

臨海自転車歩行者道路の整備（アスファルト、照明、雑草）

箱物でなく、自然の中の施設が欲しい

利用料を下げてほしい(プール)

20代、30代も利用しやすい環境になるといいと思います

スケートボードパークが24時間365日無料で受付なしで利用できるのは最高です。他の自治体も見習うべき

サッカー専用グラウンド(子供用しかない)

病院や医師との連携

冷房設備の拡充

自然と触れ合える公園施設

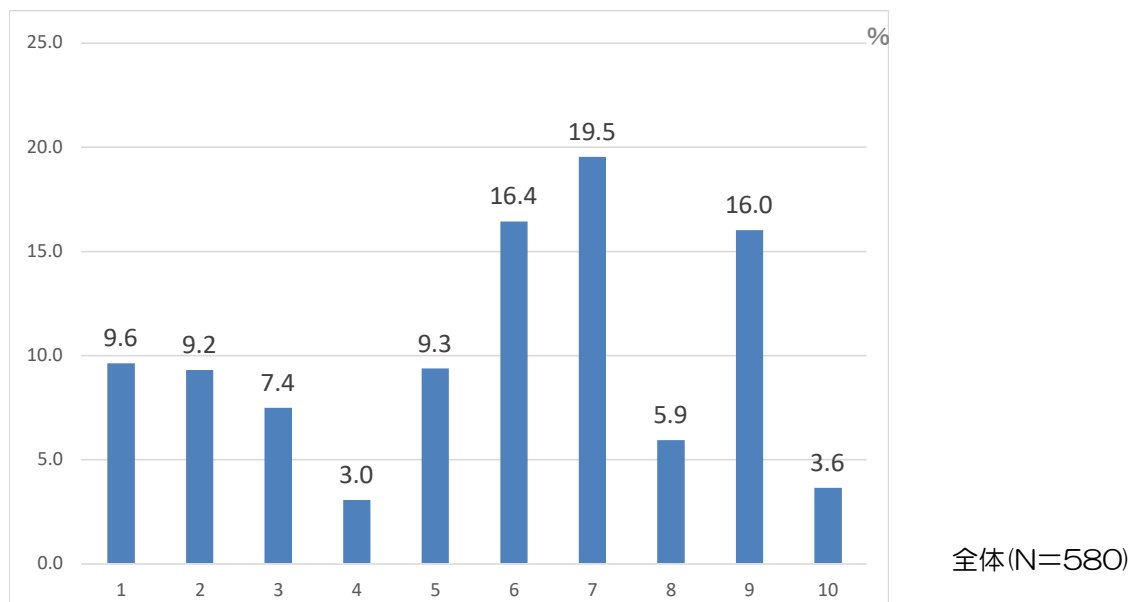
健康器具の貸出

トイレの洋式化

4 スポーツ施策について

問 21 スポーツ施策で力を入れるべきことは何だと思いますか【3つまで選択可】

スポーツ施策で力を入れるべきことについてみると、「年齢層に応じたスポーツの普及」が 19.5%と最も高く、次いで「施設の整備」が 16.4%、「健康、体力づくり中心の講座」が 16.0%でした。



1. 大会、イベントの充実
2. スポーツ教室の充実
3. 指導者の確保、養成
4. 競技力向上の支援
5. スポーツに関する情報発信
6. 施設の整備
7. 年齢層に応じたスポーツの普及
8. スポーツを通じたまちおこし
9. 健康、体力づくり中心の講座
10. その他

<その他>

分からない (2)

子供、未成年が色々なスポーツを体験出来ると良い

講座等知識を増やすことを楽しみたい

体に応じたスポーツの普及

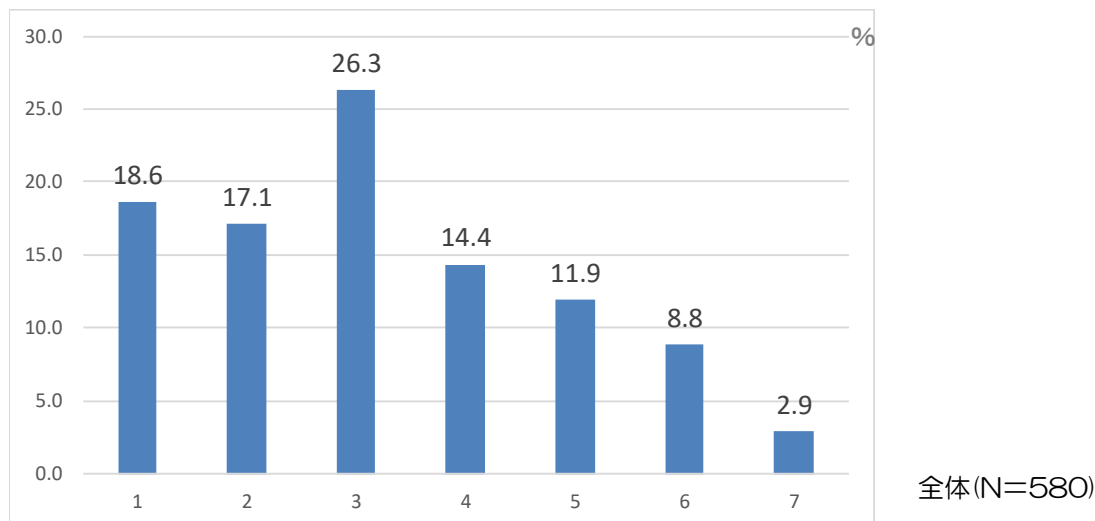
スポーツ人口を増やす

スポーツ意欲向上のための取組み

指導者のスキル向上

問 22 情報発信について行ってほしいことはありますか【あてはまるもの全て】

情報発信で行ってほしいことがあるかの問いでは、「健康や体力づくりに関する情報提供」が 26.3%と最も高く、次いで「SNS(LINEやInstagram等)の活用」が 18.6%、「大会やイベントのさらなる周知」が 17.1%でした。



1. SNS(LINE や Instagram 等)の活用 2. 大会やイベントのさらなる周知
3. 健康や体力づくりに関する情報提供 4. 地元選手やチームの活躍の案内
5. スポーツ団体の活動案内 6. 必要ない 7. その他

<その他>

YouTube での発信

市民の声を聞く場

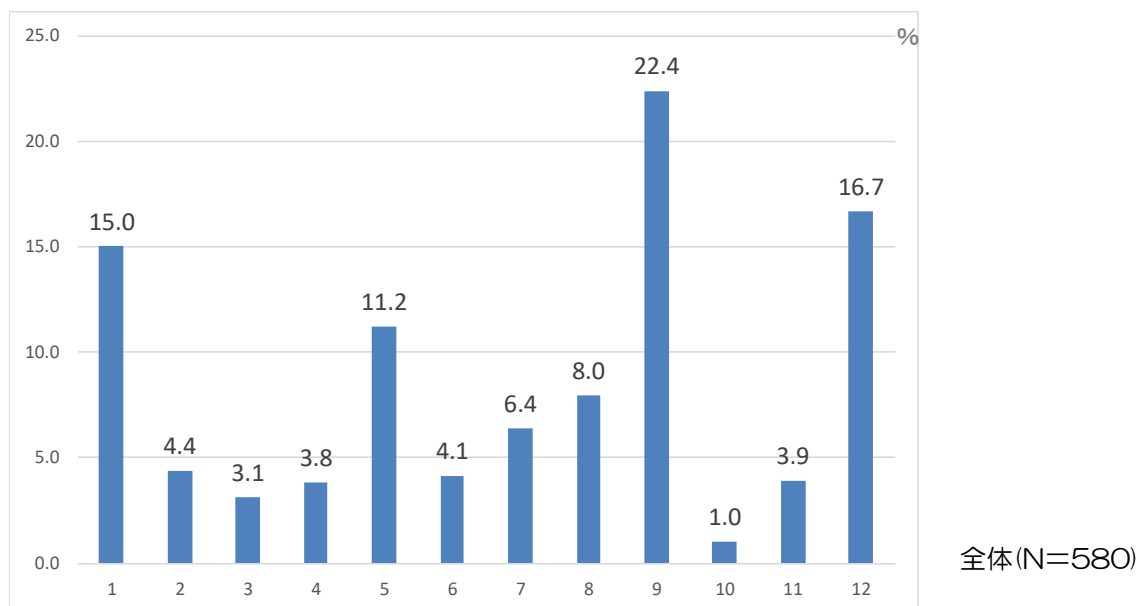
ネット中継

e スポーツ

無料で参加できるイベント等の情報提供

問23 整備してほしいスポーツ施設はありますか【3つまで選択可】

整備してほしいスポーツ施設についてみると、「ジョギング、ウォーキングコース」が 22.4%と最も高く、次いで「特になし」が 16.7%、「体育館」が 15.0%となっています。



1. 体育館 2. 陸上競技場 3. サッカー場
4. 野球、ソフトボール場 5. プール 6. グラウンドゴルフ場
7. 多目的グラウンド 8. サイクリングロード 9. ジョギング、ウォーキングコース
10. 武道場 11. その他 12. 特になし

<その他>

テニスコート（7）

スケートボードパーク

ダンスができる広場（市役所前など市の中心で公の目に触れる場所の解放）

バスケットコート（3×3 の会場）

フリークライミング

臨海体育館（雨漏り改修）

天然芝のサッカー場

グラウンドゴルフ場

卓球場

ウォーキングコースへの照明設備

高校野球に対応した野球場

ハイアルチ施設

策定の経過

年	日 時	内 容
令和6年	6月25日	第2次碧南市スポーツ推進計画第1回策定委員会 (計画策定の基本事項の確認等)
	9月5日	第2次碧南市スポーツ推進計画第2回策定委員会 (課題の整理、計画骨子の協議等)
	9月19日～ 10月10日	市民アンケートの実施
	10月31日	第2次碧南市スポーツ推進計画第3回策定委員会 (市民アンケート結果確認、計画素案の協議等)
令和7年	1月4日～2月 4日	パブリックコメントの実施
	2月27日	第2次碧南市スポーツ推進計画第4回策定委員会 (計画案の決定等)
	3月6日	スポーツ推進審議会 (計画の承認)

第2次碧南市スポーツ推進計画策定委員名簿

役職	選出団体等	氏 名
会長	碧南市スポーツ協会	杉浦 直基
副会長	碧南市スポーツ協会	荒木 重広
委員	碧南市レクリエーション協会	杉浦 正勝
委員	NPO法人 ヘきなん総合型スポーツクラブ	井上 浩之
委員	中小学校体育連盟碧南支所	石原 竹春
委員	碧南市スポーツ推進委員会	岡部 茂也
委員	碧南市スポーツ少年団	伴野 義雄
委員	碧南市社会福祉協議会	中川 英治
委員	市民代表	土谷 心平
事務局	碧南市教育委員会 教育部スポーツ課	

第2次碧南市スポーツ推進計画

〈発行〉 碧南市教育委員会 教育部スポーツ課

〒447-0853 愛知県碧南市浜町2番地3

碧南市臨海体育館内

電 話:0566-48-5311

ファックス:0566-42-8368

メール:sports@city.hekinan.lg.jp